

江戸川区内中小企業の景況について

2019年4月～6月期



江戸川区生活振興部産業振興課計画係

調査実施機関 一般社団法人東京都信用金庫協会

分析・作成 株式会社サーベイリサーチセンター

目 次

江戸川区内の中小企業の景況（2019年4月～6月期）	1
（各業種別の実績と来期の見込み）	
・ 製造業	2
・ 小売業	7
・ サービス業	11
・ 建設業	14
経営者から寄せられた声	17
江戸川区と東京都全体の企業倒産動向	18
特別調査「中小企業における人手不足の状況と働き方改革への対応について」	19
東京都全体の中小企業の景況（2019年4月～6月期）	25
江戸川区と東京都全体の比較表	26
江戸川区の業種別転記表	29

調査の概要

1. 調査時期 2019年6月上旬(四半期毎実施)
2. 調査方法 面接聴取(東京都信用金庫協会の会員信用金庫による)
3. 調査の対象と回収状況

	調査対象事業所数	有効回答事業所数
製 造 業	198	196
小 売 業	96	93
サ ー ビ ス 業	72	72
建 設 業	62	62
合 計	428	423

4. 未集計事業所の内訳

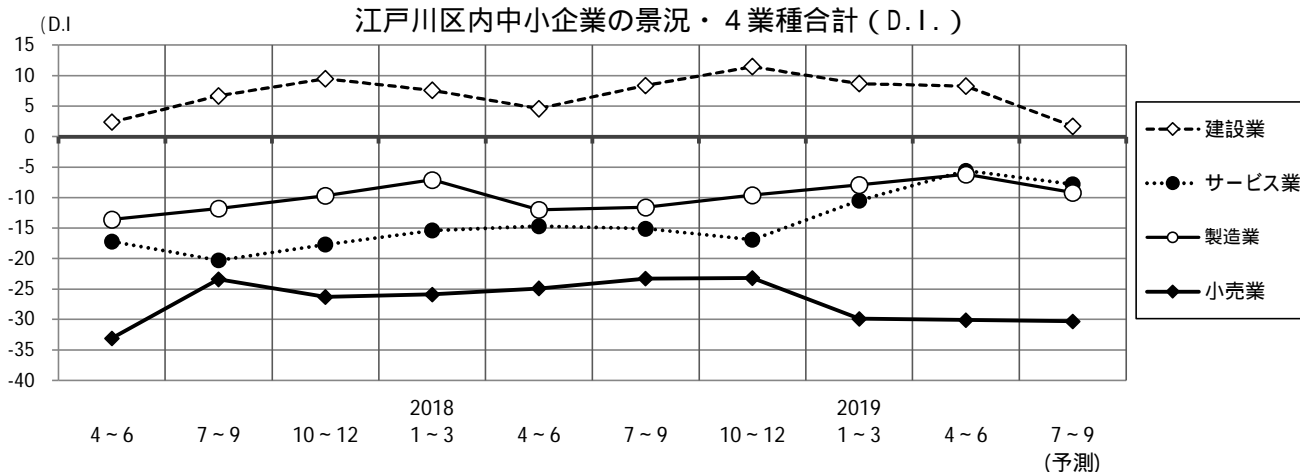
倒産・廃業	事業転換	移 転	不在が続く	調査拒否	取引解消	休 業	その他	合 計
3	0	2	0	0	0	0	0	5

江戸川区内の中小企業の景況（2019年4月～6月期）

（一般社団法人 東京都信用金庫協会調べ）

業況判断DIは前期（-10.9）から1.7ポイント改善し-9.2に。

～サービス業は大きく改善。建設業は前期並の好感感が続き、製造業と小売業も前期同様の悪化幅で推移。～



業況判断DI(季節調整済、「良い」企業割合 - 「悪い」企業割合)は-9.2(前期は-10.9)と前期に比べ1.7ポイント改善した。業種別に見ると、サービス業はやや改善し、建設業は前期並の好感感が続いた。製造業と小売業は前期同様の悪化幅で推移した。来期は、建設業の好感感が大きく後退すると予想している。小売業は今期並の水準で推移し、製造業とサービス業はわずかに悪化幅が拡大すると見込んでいる。

	前期	今期	増減	来期予想	今期との増減
製造業	-7.9	-6.2	1.7	-9.2	-3.0
小売業	-29.9	-30.1	-0.2	-30.3	-0.2
サービス業	-10.5	-5.6	4.9	-7.8	-2.2
建設業	8.7	8.3	-0.4	1.7	-6.6
総合	-10.9	-9.2	1.7	-12.1	-2.9

前期(2019年1～3月) 来期(2019年7～9月)
「総合」は上記の4業種でのD.I.値

< 製造業 >

業況はほぼ前期並の水準で推移したが、直近の5期で見るとかなり改善してきている。売上額と受注残はやや減少を強め、収益は前期並の減少幅で推移した。価格面では、販売価格は横這いで推移したが、原材料価格は上昇が幾分強まった。原材料在庫数量は適正範囲が続いた。

業種別に見ると、「一般、金型、電気、輸送、精密機械器具」と「プラスチック製品」は堅調に推移した。「金属製品、建設用金属製品」は厳しさが大幅に和らぎ、「食料品」、「繊維工業、衣服・その他の繊維製品」、「パルプ・紙、印刷、製本業」も水面下ながら大幅に改善した。「木材・木製品、家具・装備品」は再び悪化が大きく強まった。

来期の業況は再び悪化傾向をわずかに強めると見込んでいる。売上額と受注残はともに今期並の水準で推移するが、収益はやや減少を強めると予想している。

< 小売業 >

業況は前期並の悪化幅が続いた。売上額は減少がわずかに改善したが、収益は前期同様の減少幅で推移した。価格面では、販売価格は上昇傾向がかなり後退し、仕入価格は上昇が幾分強まった。

業種別に見ると、「衣服、呉服、身の回り品」は水面下ながら大きく改善したが、「飲食料品」は前期同様の悪化幅で推移し、「家具・じゅう器、家電・家庭用機械」は悪化幅がさらに大きく拡大した。

来期の業況は今期並の悪化幅が続くと見込んでいるが、売上額と収益はともに大幅に低迷すると予想している。

< サービス業 >

業況は悪化幅が幾分縮小した。売上額は前期並の悪化幅で推移したが、収益は多少持ち直した。価格面では、料金価格は前期並の水準で推移したが、材料価格は上昇が若干強まった。

来期の業況はわずかに悪化幅が拡大すると見ている。売上額と収益はともに幾分減少を強めると予想している。

< 建設業 >

業況は前期同様の好感感が続いた。売上額は増加傾向がわずかに後退したが、受注残と施工高は前期並の増勢が続き、収益は増加傾向を若干強めた。価格面では、請負価格はわずかに上昇し、材料価格は上昇がかなり弱まった。

来期の業況は好感感がかなり後退すると見ており、売上額、収益、受注残はともに増加から減少に大きく転じ、施工高も増勢が一服すると予想している。

製 造 業

注：コメント中の（）内のD.I.値は（前々期 前期 今期）となっている。

（１）業況、売上額、受注残、収益

業況（ 9.6 7.9 6.2）はほぼ前期並の水準で推移したが、直近の5期で見るとかなり改善してきている。

売上額（ 9.5 2.4 5.9）と受注残（ 6.2 2.6 4.8）はやや減少を強め、収益（ 12.6 4.4 5.8）は前期並の減少幅で推移した。

来期の見通しについて、業況（ 9.2予想）は再び悪化傾向をわずかに強めると見込んでいる。売上額（ 7.3予想）と受注残（ 6.1予想）はともに今期並の水準で推移するが、収益（ 9.5予想）はやや減少を強めると予想している。

（２）販売価格、原材料価格、原材料在庫数量

販売価格（ 1.2 0.2 1.3）は横這いで推移したが、原材料価格（18.7 17.5 19.7）は上昇が幾分強まった。原材料在庫数量（ 2.2 0.1 1.9）は適正範囲が続いた。

来期の見通しについて、販売価格（ 1.7 予想）は今期同様に横這いで推移し、原材料価格（13.5 予想）はかなり上昇が弱まると見込んでいる。原材料在庫数量（1.7 予想）は適正範囲に保たれると予想している。

（３）資金繰り、借入金動向

資金繰り（ 7.7 8.6 5.7）は厳しさが多少和らぐが、借入難易度（ 2.3 2.9 1.2）は容易な状況から厳しい状況にわずかに転じた。

設備投資を「実施した」企業（16.0% 15.9% 15.9%）は前期からの増減はなかった。

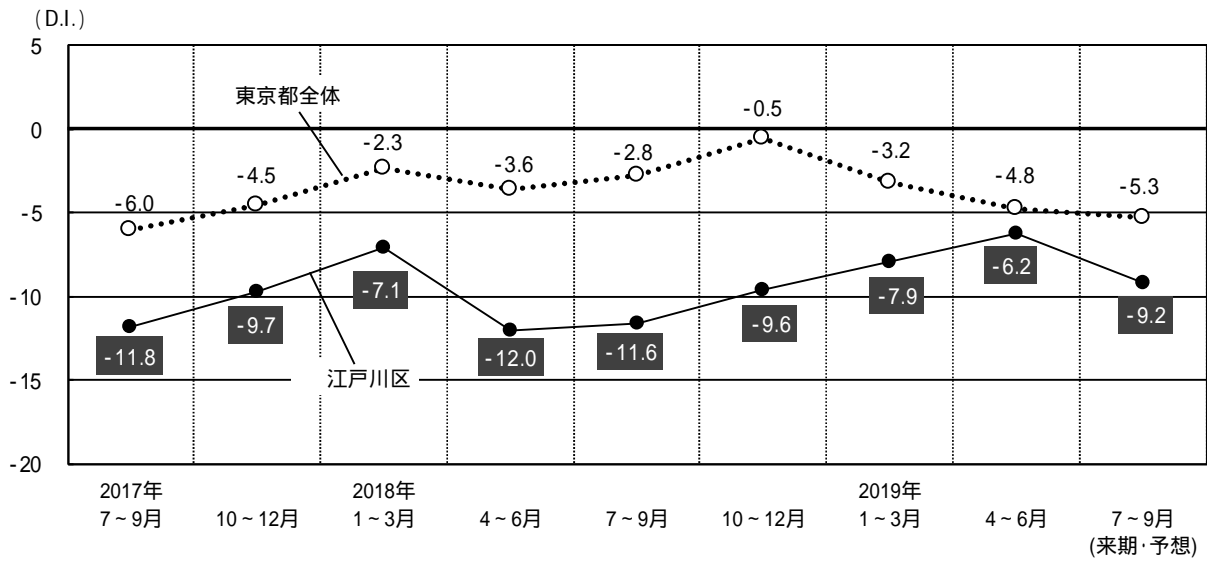
来期の見通しについて、資金繰り（ 7.0 予想）は厳しさが幾分増すと予想している。

（４）経営上の問題点、重点経営施策

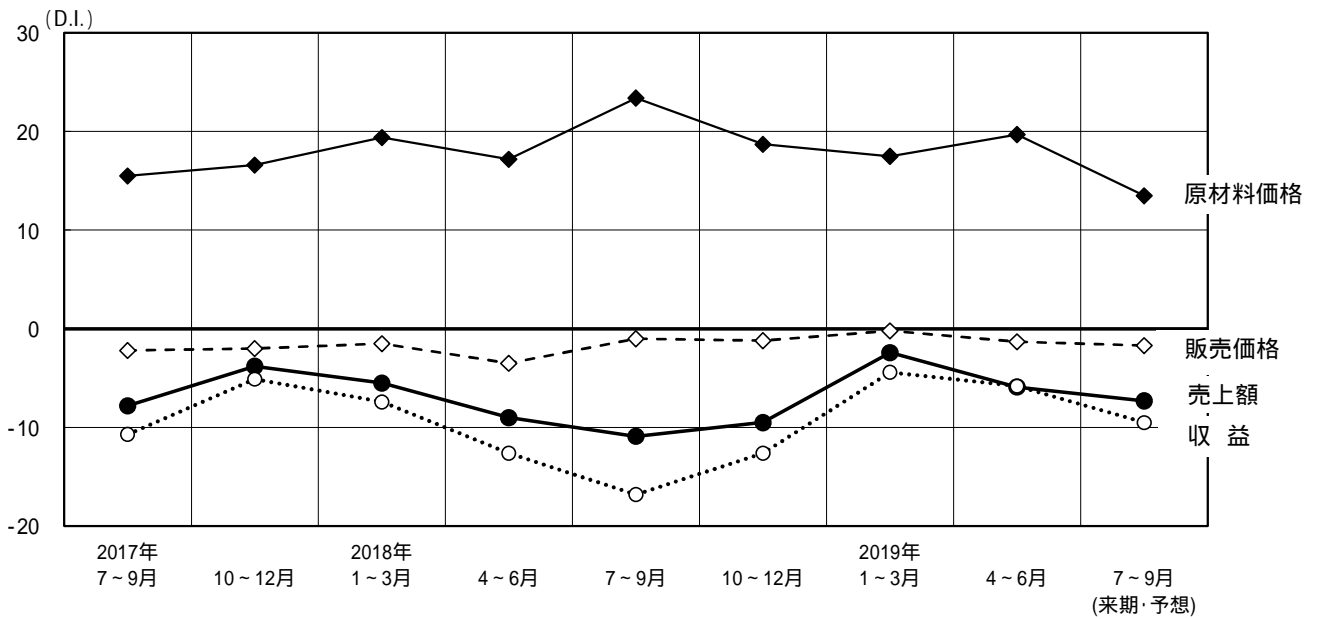
経営上の問題点は、「売上の停滞・減少」（33.7%）が今期も最多となった。以下、「同業者間の競争の激化」、「原材料高」（各19.4%）、「利幅の縮小」（17.3%）、「人手不足」（11.7%）の順であった。

重点経営施策では、「販路を広げる」（52.0%）が今期も最多となった。以下、「経費を節減する」（38.3%）、「情報力を強化する」（15.8%）、「人材を確保する」（11.7%）、「新製品・技術を開発する」（11.2%）の順であった。

【製造業】 業況（江戸川区と東京都全体の比較）

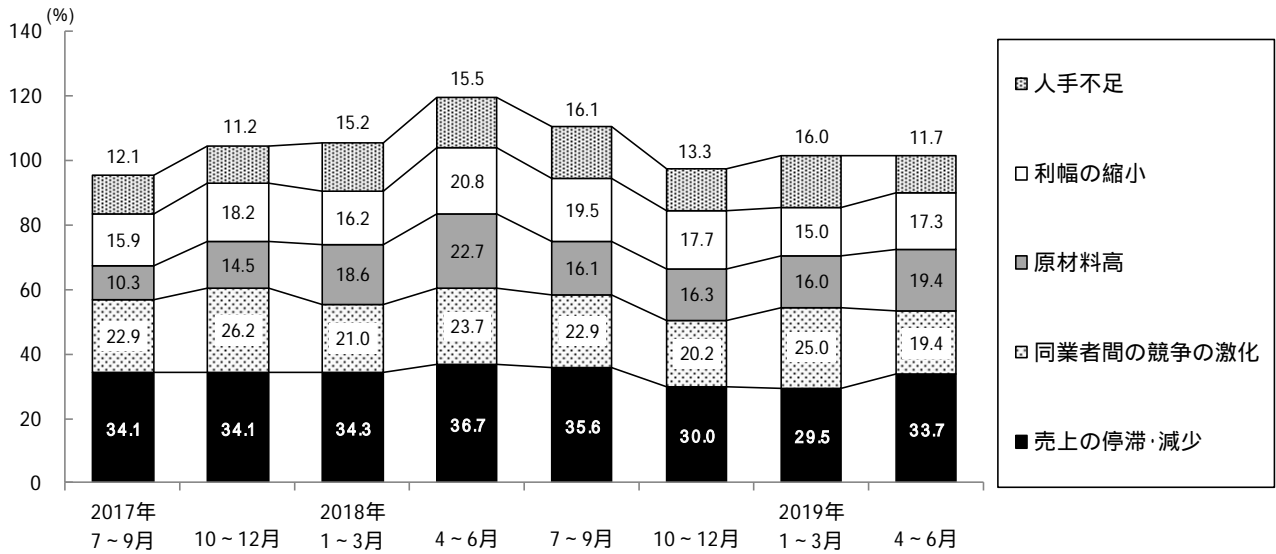


【製造業】 売上額・収益・販売価格・原材料価格の推移



【製造業】 経営上の問題点 (複数回答)

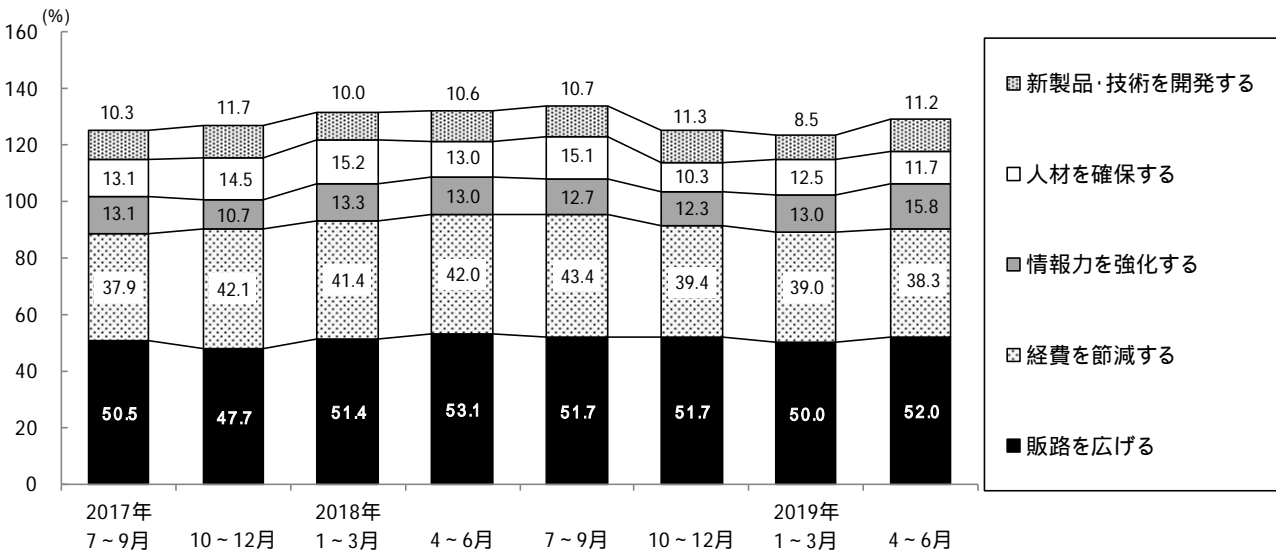
2018年7～9月期		2018年10～12月期		2019年1～3月期		2019年4～6月期	
売上の停滞・減少	35.6%	売上の停滞・減少	30.0%	売上の停滞・減少	29.5%	売上の停滞・減少	33.7%
同業者間の競争の激化	22.9%	同業者間の競争の激化	20.2%	同業者間の競争の激化	25.0%	同業者間の競争の激化	19.4%
利幅の縮小	19.5%	利幅の縮小	17.7%	原材料高	16.0%	原材料高	17.3%
原材料高	16.1%	原材料高	16.3%	人手不足	15.0%	利幅の縮小	17.3%
人手不足		人手不足	13.3%	利幅の縮小		15.0%	人手不足



(注：今期の上位5項目を基準に作表しているため、前期以前の項目は上位5項目となっていない場合があります。)

【製造業】 重点経営施策 (複数回答)

2018年7～9月期		2018年10～12月期		2019年1～3月期		2019年4～6月期	
販路を広げる	51.7%	販路を広げる	51.7%	販路を広げる	50.0%	販路を広げる	52.0%
経費を節減する	43.4%	経費を節減する	39.4%	経費を節減する	39.0%	経費を節減する	38.3%
人材を確保する	15.1%	情報力を強化する	12.3%	情報力を強化する	13.0%	情報力を強化する	15.8%
情報力を強化する	12.7%	新製品・技術を開発する	11.3%	人材を確保する	12.5%	人材を確保する	11.7%
新製品・技術を開発する	10.7%	人材を確保する	10.3%	新製品・技術を開発する	8.5%	新製品・技術を開発する	11.2%



(注：今期の上位5項目を基準に作表しているため、前期以前の項目は上位5項目となっていない場合があります。)

製造業の中分類業種別動向

注：コメント中の（）内のD.I.値は（前々期 前期 今期）となっている。

食料品

業況（ 15.4 22.5 15.0）は水面下ながら大きく改善した。売上額（ 12.6 16.2 11.5）はわずかに改善し、受注残（ 18.4 16.6 3.2）と収益（ 10.9 12.7 6.2）は大幅に持ち直した。

販売価格（0.5 5.3 14.1）は大幅に上昇が強まったが、原材料価格（24.0 34.1 28.2）は上昇幅がかなり弱まった。

資金繰り（15.7 5.9 8.5）は厳しさが幾分増し、借入難易度（ 7.7 18.2 27.3）も窮屈感が大きく強まった。

来期の見通しは、業況（ 13.2 予想）は今期並の水準が続くと見ている。売上額（ 11.8 予想）と収益（ 8.0 予想）はともに今期並の下降幅で推移するが、受注残（4.1 予想）は大きく持ち直し増勢に転じると見込まれている。販売価格（7.4 予想）は上昇幅がかなり縮小し、原材料価格（20.6 予想）も大幅に上昇が弱まると予想している。

繊維工業、衣服・その他の繊維製品

業況（ 34.7 35.4 23.4）は水面下ながら大幅に持ち直した。売上額（ 16.0 31.4 29.7）は前期並の悪化幅が続いたものの、収益（ 23.0 37.4 28.3）と受注残（ 31.5 34.3 27.2）はともに大きく改善した。

販売価格（2.2 16.1 20.0）はやや下降が強まり、原材料価格（7.9 3.1 4.2）は前期並の上昇幅で推移した。

資金繰り（ 29.2 39.6 18.7）は苦しさが大幅に弱まったが、借入難易度（ 18.2 8.4 8.4）は前期同様の厳しさが続いた。

来期の見通しは、業況（ 26.1 予想）は幾分悪化が強まるが、売上額（ 18.0 予想）、収益（ 16.9 予想）、受注残（ 15.8 予想）はいずれも大幅に改善すると見込まれている。販売価格（ 14.7 予想）は水面下ながら多少改善し、原材料価格（1.8 予想）は上昇が弱まり落ち着きを見せると予想している。

木材・木製品、家具・装備品

業況（ 11.1 3.7 14.2）は再び悪化が大きく強まり、売上額（ 8.2 3.5 7.1）も上昇から下降に大きく落込んだ。受注残（ 4.9 1.0 0.3）は前期同様の水準が続き、収益（ 12.5 3.1 10.2）は減少幅がかなり拡大した。

販売価格（ 4.9 3.4 9.2）は下降幅がかなり拡大し、原材料価格（12.5 4.1 12.7）は大幅に上昇が強まった。

資金繰り（ 4.6 14.1 18.4）は苦しさがやや増したが、借入難易度（0.0 0.0 0.0）は前期同様の水準で推移した。

来期の見通しは、業況（ 15.2 予想）は今期並の悪化幅で推移すると予想されているが、売上額（6.5 予想）は再び減少から増加に大きく転じると見ている。収益（ 7.5 予想）はわずかに改善し、受注残（10.3 予想）は減少から増加に大きく転じると見込まれている。販売価格（ 6.8 予想）は下降幅が幾分縮小し、原材料価格（10.7 予想）は上昇がやや弱まると予想している。

パルプ・紙、印刷、製本業

業況（ 23.7 21.7 14.8）は悪化幅が大幅に改善した。売上額（ 40.8 18.1 15.0）はわずかに改善したが、収益（ 30.5 8.6 14.8）は大幅に下降し、受注残（ 24.4 12.0 16.8）も減少が若干拡大した。

販売価格（0.3 5.7 4.6）は上昇傾向が大きく弱まり減少に転じた。原材料価格（28.3 22.5 22.4）は前期並の上昇幅で推移した。

資金繰り（ 13.6 15.9 10.7）は厳しさが幾分弱まったが、借入難易度（ 4.7 4.6 5.0）は前期並の容易さが続いた。

来期の見通しは、業況（ 39.3 予想）は悪化傾向が極端に強まると見ている。売上額（ 38.9 予想）も減少を非常に強め、受注残（ 26.2 予想）と収益（ 26.9 予想）も減少幅が大きく拡大すると見込まれている。販売価格（ 11.3 予想）は下降傾向をさらに大きく強めるが、原材料価格（18.3 予想）は上昇が若干弱まると予想している。

金属製品、建設用金属製品

業況(3.7 8.5 0.7)は厳しさが大幅に和らいだ。売上額(8.8 0.0 1.7)と受注残(0.9 4.7 2.9)はほぼ前期並みの水準で推移したが、収益(14.0 2.0 5.1)は大きく持ち直し増加に転じた。

販売価格(5.1 2.4 0.4)はわずかにプラスに転じたが、原材料価格(20.7 26.2 25.9)は前期並の上昇幅が続いた。

資金繰り(13.2 9.7 4.4)は幾分苦しさが和らいだが、借入難易度(8.3 0.0 4.4)は窮屈感が現れてきた。

来期の見通しは、業況(9.3 予想)はふたたび悪化が大きく強まると見ている。売上額(10.6 予想)と収益(6.4 予想)はともに増加から減少に大きく転じ、受注残(17.1 予想)も減少が大幅に強まると見込まれている。販売価格(2.1 予想)はほぼ横這いで推移し、原材料価格(19.2 予想)は上昇がかなり弱まると予想している。

一般、金型、電気、輸送、精密機械器具

業況(2.1 7.3 11.2)は堅調に推移した。売上額(2.0 10.4 16.8)と収益(2.0 3.9 11.7)も大幅に改善し、受注残(6.8 12.8 14.8)も増加傾向がわずかに強まった。

販売価格(4.3 4.4 9.4)は上昇幅が多少拡大したが、原材料価格(12.7 19.4 23.4)も幾分上昇が強まった。

資金繰り(3.7 8.3 4.6)は大幅に改善され容易な状況に転じたが、借入難易度(0.0 9.7 2.7)は容易さがかなり後退した。

来期の見通しは、業況(0.6 予想)は好調感が大きく縮小すると見ており、売上額(6.0 予想)、収益(1.8 予想)、受注残(2.9 予想)ともに増勢が大幅に後退すると見込まれている。販売価格(4.4 予想)は上昇幅がかなり縮小し、原材料価格(11.4 予想)も上昇が大幅に弱まると予想している。

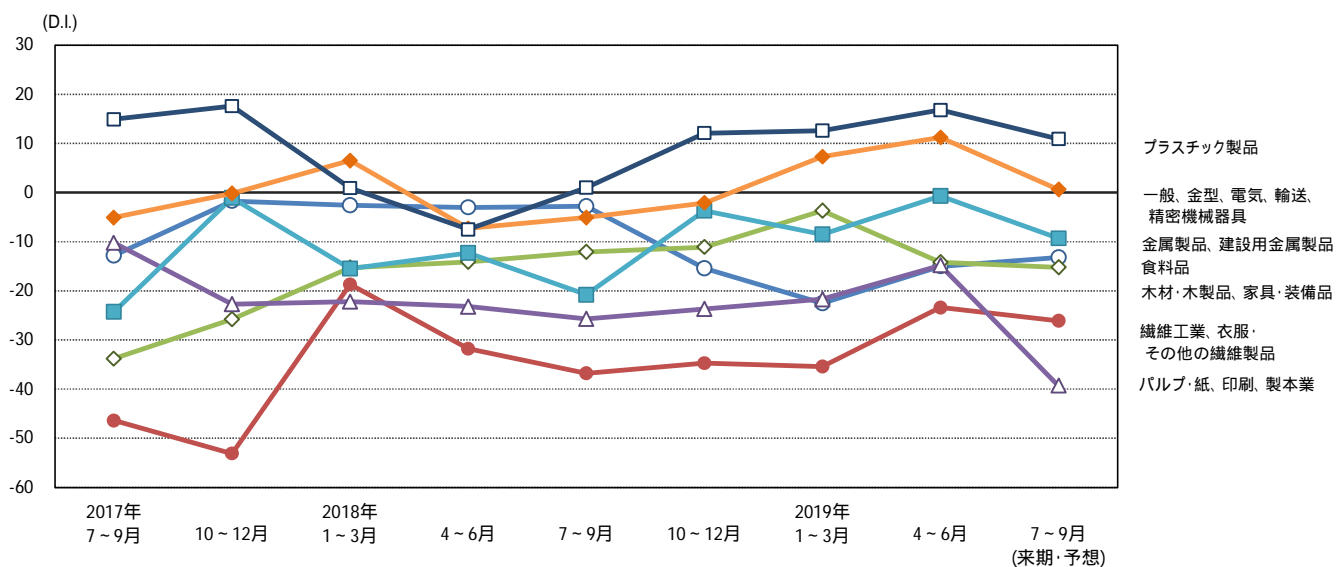
プラスチック製品

業況(12.1 12.6 16.8)は好感度がさらに強まったが、売上額(5.9 20.7 1.1)は増加傾向が極端に後退した。収益(0.3 18.1 7.9)は増加幅が大きく縮小し、受注残(8.0 11.1 6.6)も増加幅がやや縮小した。

販売価格(4.8 4.5 6.3)は前期並の下降幅で推移したが、原材料価格(23.9 14.8 19.9)は上昇傾向がかなり強まった。

資金繰り(6.7 13.3 1.6)と借入難易度(15.4 31.3 15.4)はともに容易さが大幅に後退した。

来期の見通しは、業況(10.9 予想)は好感度がかなり後退するすると見ている。売上額(8.6 予想)は増加傾向が大きく強まり、受注残(9.0 予想)も増加幅がわずかながら拡大するが、収益(9.4 予想)は今期並の増加幅で推移すると見込まれている。販売価格(0.0 予想)は厳しさがなくなり、原材料価格(9.1 予想)は上昇が大きく弱まると予想している。



小 売 業

注：コメント中の（）内のD.I.値は（前々期 前期 今期）となっている。

（１）業況、売上額、収益

業況（ 23.2 29.9 30.1）は前期並の悪化幅が続いた。

売上額（ 15.2 14.7 12.2）は減少がわずかに改善したが、収益（ 15.9 12.3 13.2）は前期同様の減少幅で推移した。

来期の見通しについて、業況（ 30.3予想）は今期並の悪化幅が続くと見込んでいるが、売上額（ 17.3予想）と収益（ 20.0予想）はともに大幅に低迷すると予想している。

（２）販売価格、仕入価格、在庫数量

販売価格（3.8 9.1 1.0）は上昇傾向がかなり後退し、仕入価格（10.0 9.3 11.4）は上昇が幾分強まった。

在庫数量（ 2.5 1.9 3.8）は適正水準から幾分在庫過多となった。

来期の見通しについて、販売価格（1.0 予想）は増減なく推移し、仕入価格（9.0 予想）は上昇が若干弱まると見込んでいる。在庫数量（4.7 予想）は今期同様の過多感が続くと予想している。

（３）資金繰り、借入金動向

資金繰り（ 13.8 14.1 9.8）と借入難易度（ 7.3 9.1 5.8）はともに厳しさが多少和らいだ。

設備投資を「実施した」企業（3.2% 5.3% 8.0%）は前期から2.7%の増加となった。

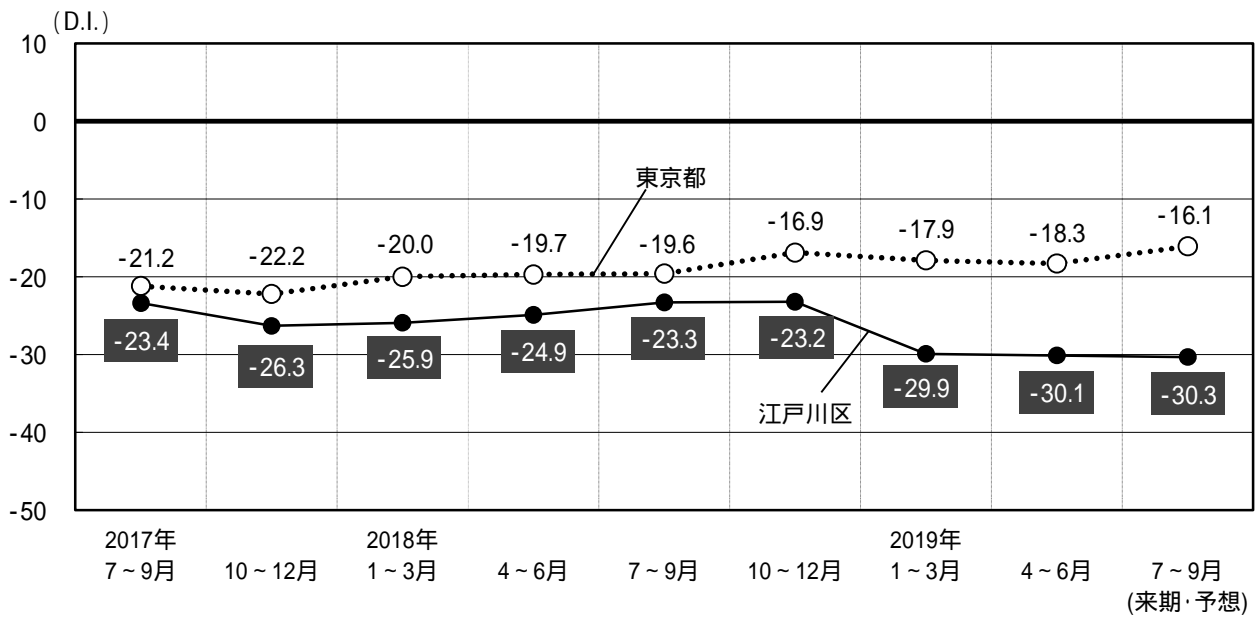
来期の見通しについて、資金繰り（ 11.1 予想）は今期並の厳しさが続くと予想している。

（４）経営上の問題点、重点経営施策

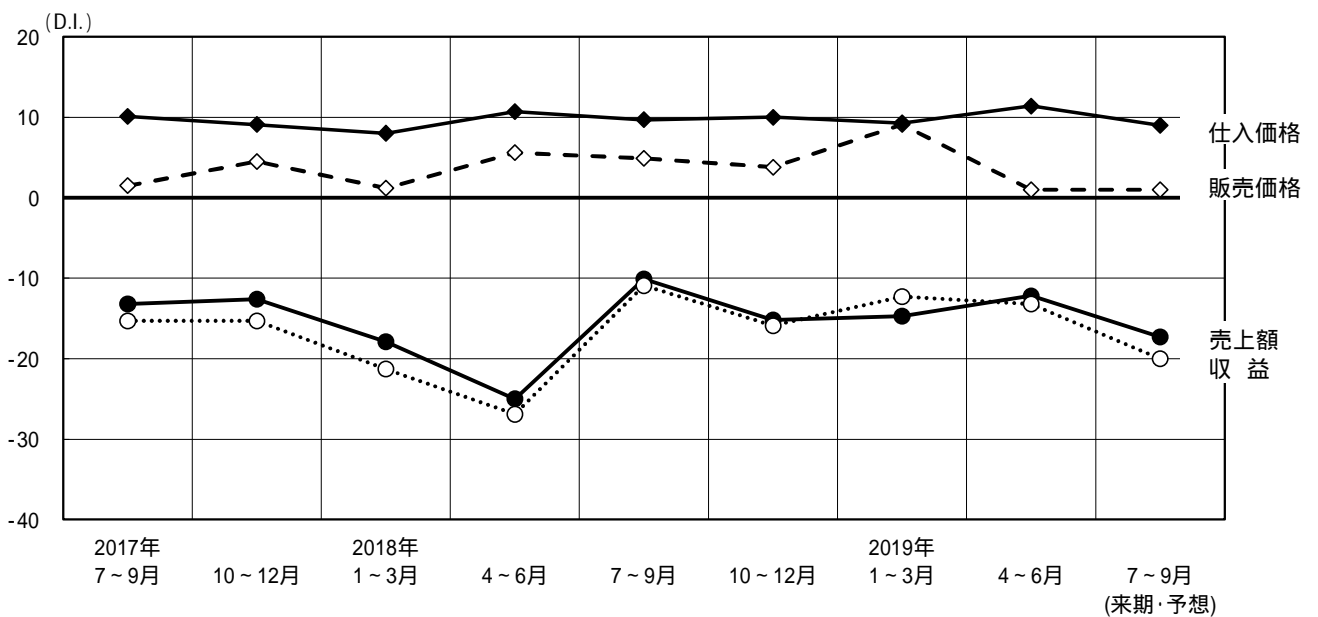
経営上の問題点は、「売上の停滞・減少」（40.9%）が今期も最多となった。以下、「同業者間の競争の激化」、「大型店との競争の激化」（各26.9%）、「商店街の集客力の低下」（14.0%）、「利幅の縮小」、「仕入れ先からの値上げ要請」（各10.8%）の順であった。

重点経営施策では、「経費を節減する」（32.3%）が今期も最多となった。以下、「品揃えを改善する」（29.0%）、「宣伝・広報を強化する」（26.9%）、「売れ筋商品を取り扱う」（21.5%）、「商店街事業を活性化させる」（12.9%）の順であった。

【小売業】 業況（江戸川区と東京都全体の比較）



【小売業】 売上額・収益・販売価格・仕入価格の推移

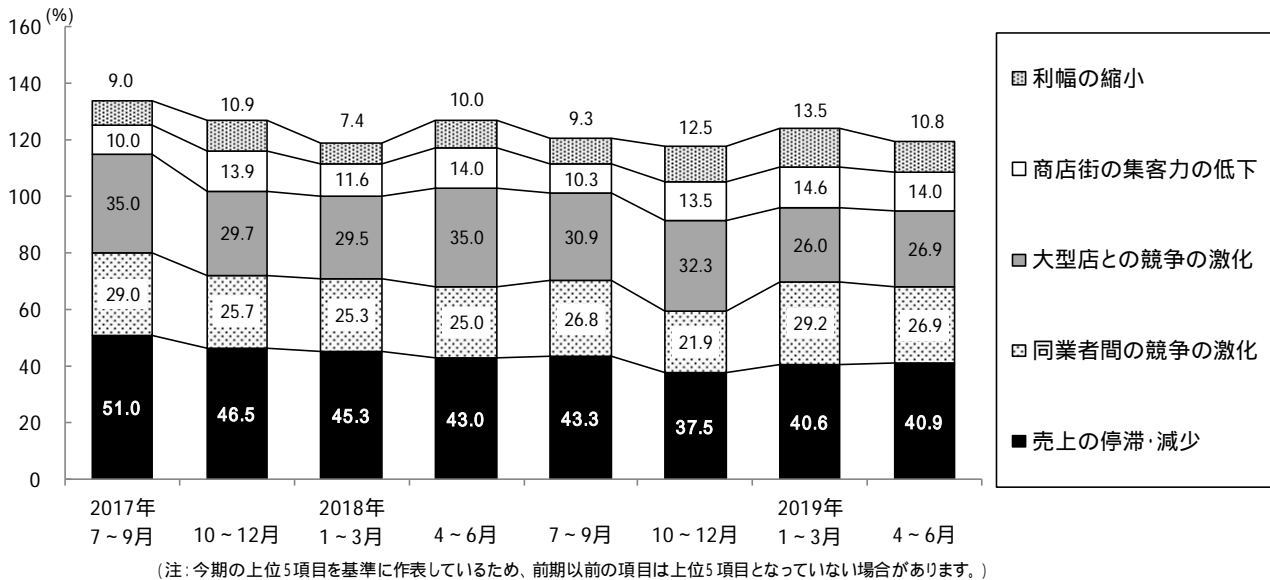


【小売業】

経営上の問題点

(複数回答)

2018年7～9月期		2018年10～12月期		2019年1～3月期		2019年4～6月期	
売上の停滞・減少	43.3%	売上の停滞・減少	37.5%	売上の停滞・減少	40.6%	売上の停滞・減少	40.9%
大型店との競争の激化	30.9%	大型店との競争の激化	32.3%	同業者間の競争の激化	29.2%	同業者間の競争の激化	26.9%
同業者間の競争の激化	26.8%	同業者間の競争の激化	21.9%	大型店との競争の激化	26.0%	大型店との競争の激化	26.9%
商圏人口の減少	11.3%	商店街の集客力の低下	13.5%	商店街の集客力の低下	14.6%	商店街の集客力の低下	14.0%
商店街の集客力の低下	10.3%	利幅の縮小	12.5%	利幅の縮小	13.5%	利幅の縮小 仕入先からの値上げ要請	10.8%

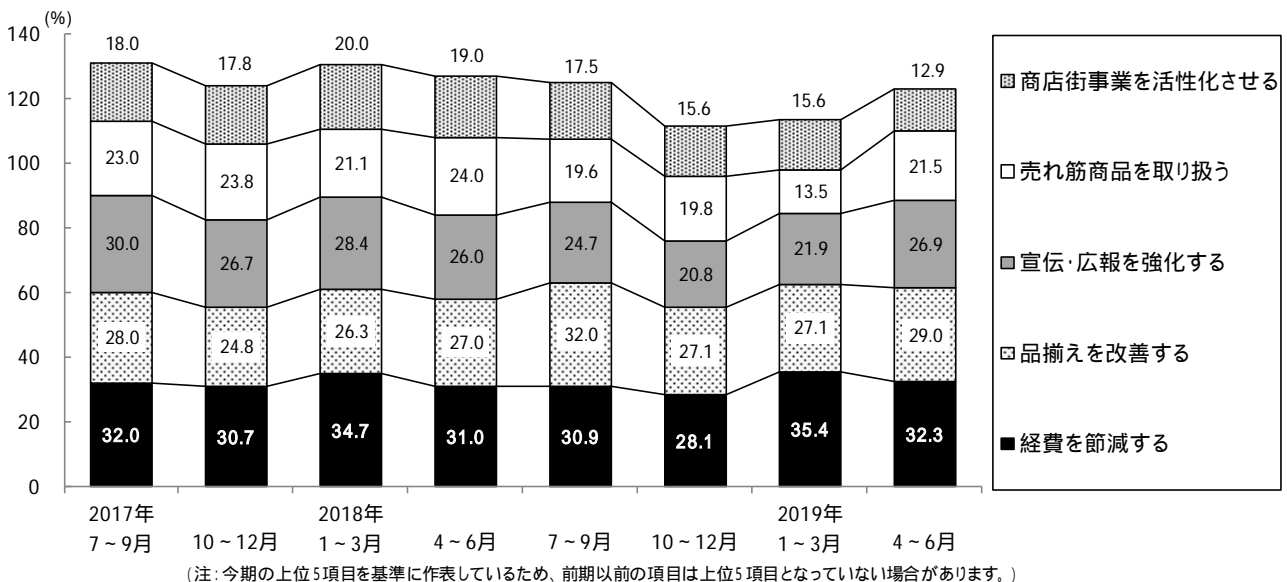


【小売業】

重点経営施策

(複数回答)

2018年7～9月期		2018年10～12月期		2019年1～3月期		2019年4～6月期	
品揃えを改善する	32.0%	経費を節減する	28.1%	経費を節減する	35.4%	経費を節減する	32.3%
経費を節減する	30.9%	品揃えを改善する	27.1%	品揃えを改善する	27.1%	品揃えを改善する	29.0%
宣伝・広報を強化する	24.7%	宣伝・広報を強化する	20.8%	宣伝・広報を強化する	21.9%	宣伝・広報を強化する	26.9%
売れ筋商品を取り扱う	19.6%	売れ筋商品を取り扱う	19.8%	商店街事業を活性化させる	15.6%	売れ筋商品を取り扱う	21.5%
商店街事業を活性化させる	17.5%	商店街事業を活性化させる	15.6%	売れ筋商品を取り扱う	13.5%	商店街事業を活性化させる	12.9%



小売業の中分類業種別動向

注：コメント中の（ ）内のD.I.値は（前々期 前期 今期）となっている。

衣服、呉服、身の回り品

業況（ 10.9 19.8 10.8）は水面下ながら大きく改善したが、売上額（ 17.1 0.5 3.8）と収益（ 10.4 1.4 5.2）はともに減少幅がわずかに拡大した。

販売価格（ 1.9 1.1 2.2）は前期同様の水準で推移し、仕入価格（ 4.5 3.8 0.0）は良好感がなくなった。

資金繰り（ 17.7 17.2 0.9）は大幅に改善し窮屈感を脱したが、借入難易度（ 9.1 20.0 20.0）は前期並の厳しさが続いた。

来期の見通しは、業況（ 16.5 予想）は悪化幅がさらに強まると見ている。売上額（ 8.1 予想）は減少幅が幾分拡大するが、収益（ 7.1 予想）は今期並の減少幅で推移すると見込まれている。販売価格（0.6 予想）はわずかに好転し、仕入価格（1.7 予想）は良好感が無くなり厳しさが現れてくると予想している。

飲食料品

業況（ 28.5 30.1 31.7）は前期同様の悪化幅で推移した。売上額（ 9.3 16.4 9.4）は減少幅がかなり縮小したが、収益（ 14.7 13.0 12.7）は前期並の減少幅が続いた。

販売価格（7.7 19.9 10.3）は増加傾向が大幅に後退し、仕入価格（10.3 13.0 12.3）は前期同様の上昇幅で推移した。

資金繰り（ 14.4 10.4 7.4）は苦しさが多少和らぎ、借入難易度（ 22.8 13.0 0.0）は大幅に改善し厳しさがなくなった。

来期の見通しは、業況（ 31.8 予想）は今期並の悪化幅が続くが、売上額（ 14.9 予想）と収益（ 18.1 予想）はともに減少が大きく強まると見込まれている。販売価格（13.5 予想）と仕入価格（14.9 予想）はともに上昇が若干強まると予想している。

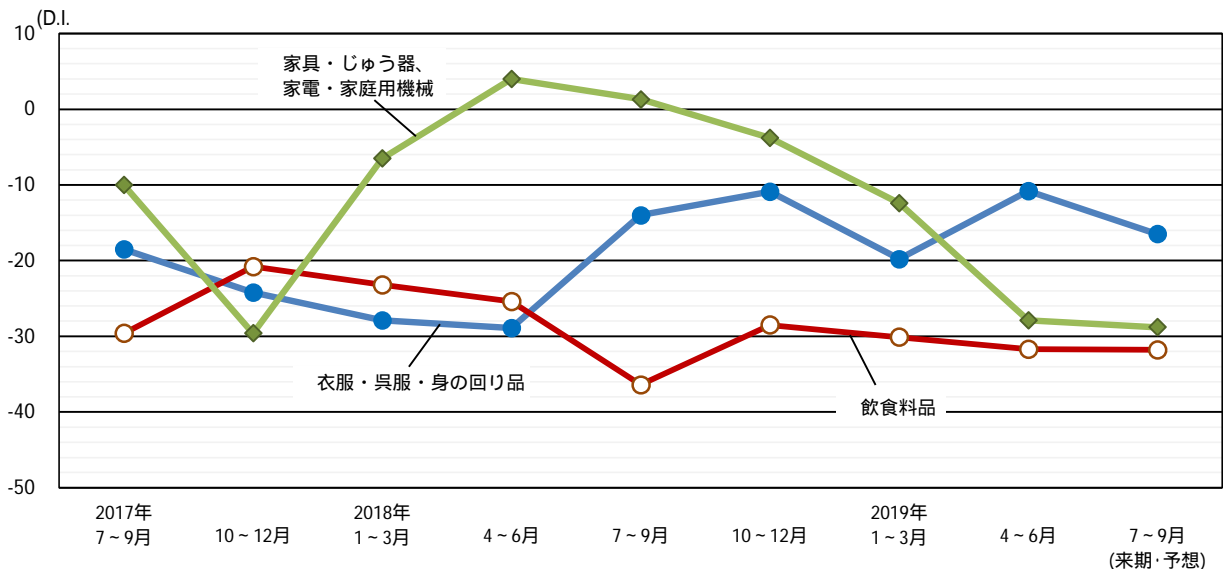
家具・じゅう器、家電・家庭用機械

業況（ 3.8 12.4 27.9）は悪化幅が大きく拡大した。売上額（2.9 7.1 18.0）と収益（2.5 8.6 17.6）も減少が大幅に強まった。

販売価格（0.1 1.7 10.6）と仕入価格（1.7 0.0 10.7）はともに水面下に大きく落込んだ。

資金繰り（ 18.9 19.3 8.8）は厳しさが大幅に和らいだが、借入難易度（10.0 10.0 0.0）は容易さがなくなった。

来期の見通しは、業況（ 28.8 予想）は今期並の悪化幅が続くと見ている。売上額（ 19.4 予想）は今期並の減少幅で推移するが、収益（ 20.4 予想）は減少幅が幾分拡大すると見込まれている。販売価格（ 3.5 予想）は下降傾向が大きく改善するが、仕入価格（ 3.6 予想）は良好感がかなり後退すると予想している。



サービス業

注：コメント中の（）内のD.I.値は（前々期 前期 今期）となっている。

（１）業況、売上額、収益

業況（ 16.9 10.5 5.6 ）は悪化幅が幾分縮小し、２期連続で改善傾向が続いた。

売上額（ 17.9 11.0 12.9 ）は前期並の悪化幅で推移したが、収益（ 16.2 16.2 11.6 ）は多少持ち直した。

来期の見通しについて、業況（ 7.8 予想 ）はわずかに悪化幅が拡大すると見ている。売上額（ 15.5 予想 ）と収益（ 15.1 予想 ）は幾分減少を強めると予想している。

（２）料金価格、材料価格

料金価格（ 1.5 1.2 1.3 ）は前期並の水準で推移したが、材料価格（ 15.9 14.7 17.2 ）は上昇が若干強まった。

来期の見通しについて、料金価格（ 3.0 予想 ）は今期同様の水準で推移し、材料価格（ 14.2 予想 ）は上昇が多少弱まると予想している。

（３）資金繰り、借入金動向

資金繰り（ 11.0 17.6 15.8 ）は前期並の苦しさが続き、借入難易度（ 0.0 0.0 7.5 ）は厳しい状況に大きく落込んだ。

設備投資を「実施した」企業（ 15.5% 11.4% 13.2% ）は、前期から1.8ポイント増加した。

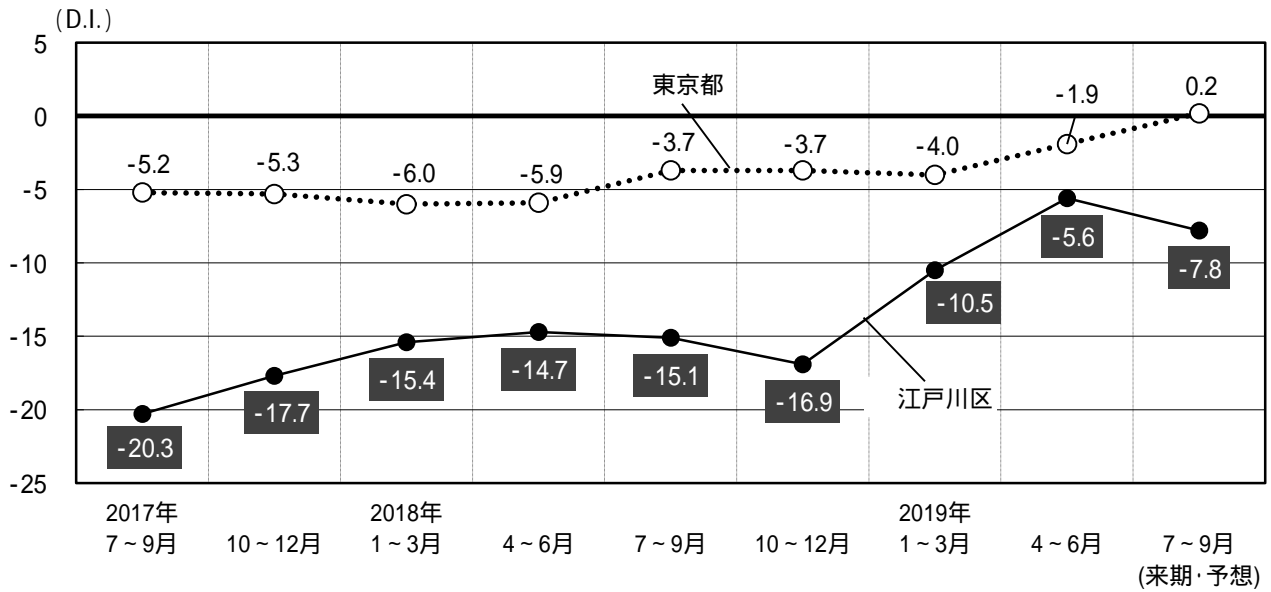
来期の見通しについて、資金繰り（ 15.0 予想 ）は今期並の厳しい状況が続くと予想している。

（４）経営上の問題点、重点経営施策

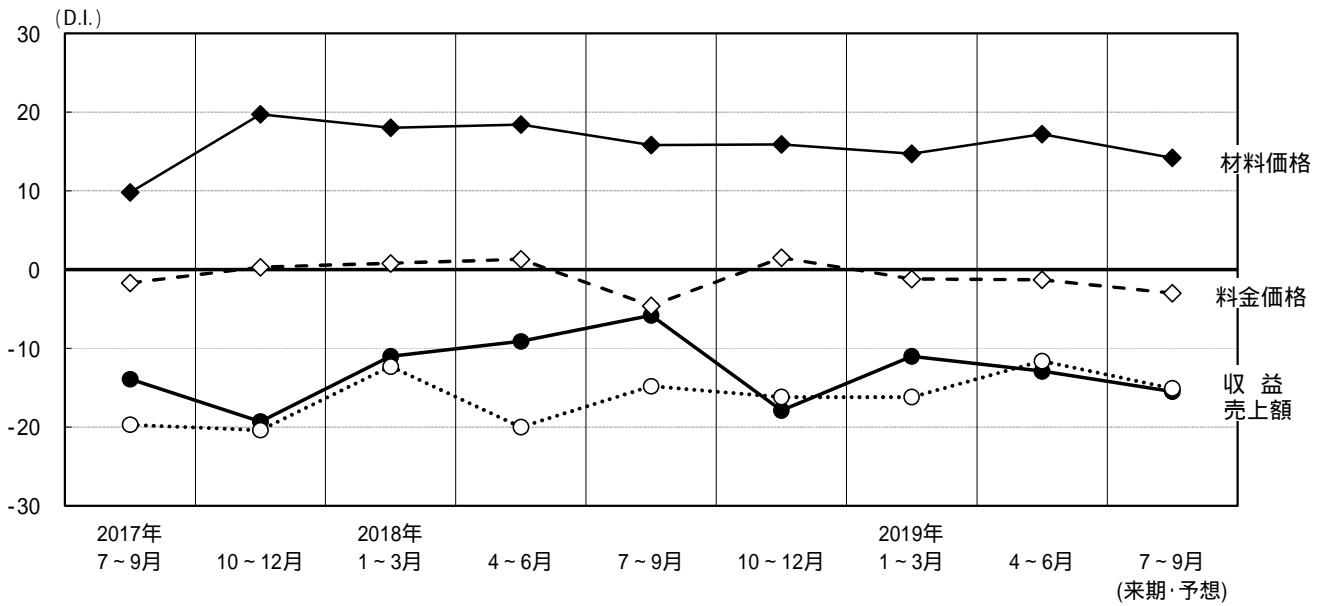
経営上の問題点は、「同業者間の競争の激化」（41.7%）が今期も最多となった。以下、「売上の停滞・減少」（36.1%）、「人手不足」（19.4%）、「大企業との競争の激化」（13.9%）、「利幅の縮小」（11.1%）の順であった。

重点経営施策では、「販路を広げる」（37.5%）が今期は最多となった。以下、「経費を節減する」（30.6%）、「宣伝・広告を強化する」、「人材を確保する」（各20.8%）、「提携先を見つける」、「技術力を強化する」（各12.5%）の順であった。

【サービス業】 業況（江戸川区と東京都全体の比較）

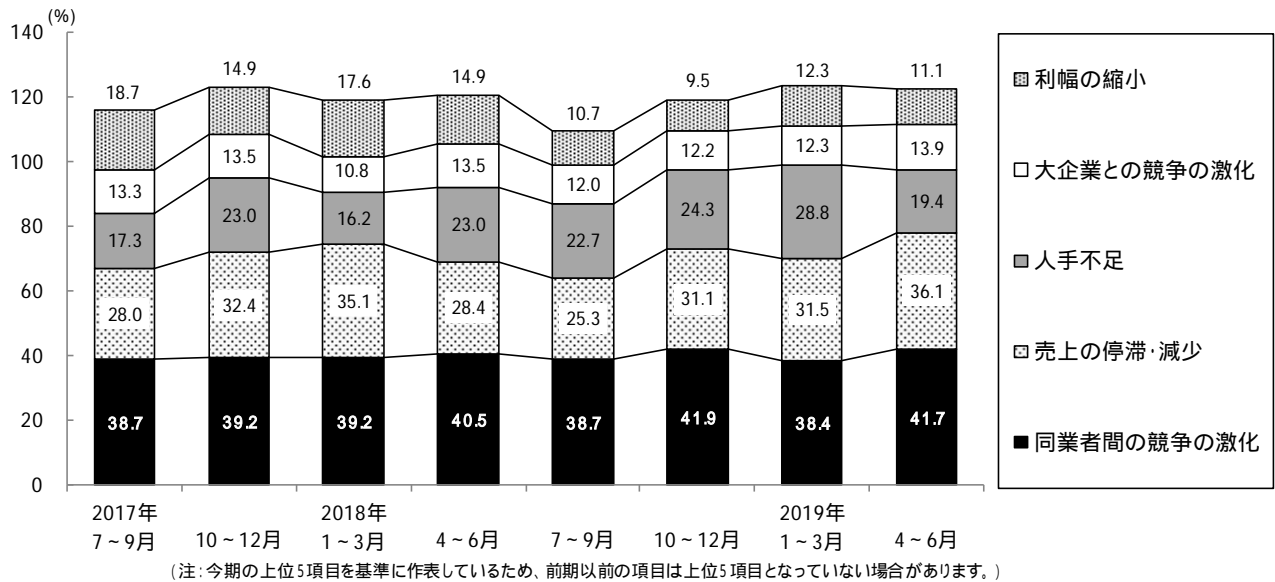


【サービス業】 売上額・収益・料金価格・材料価格の推移



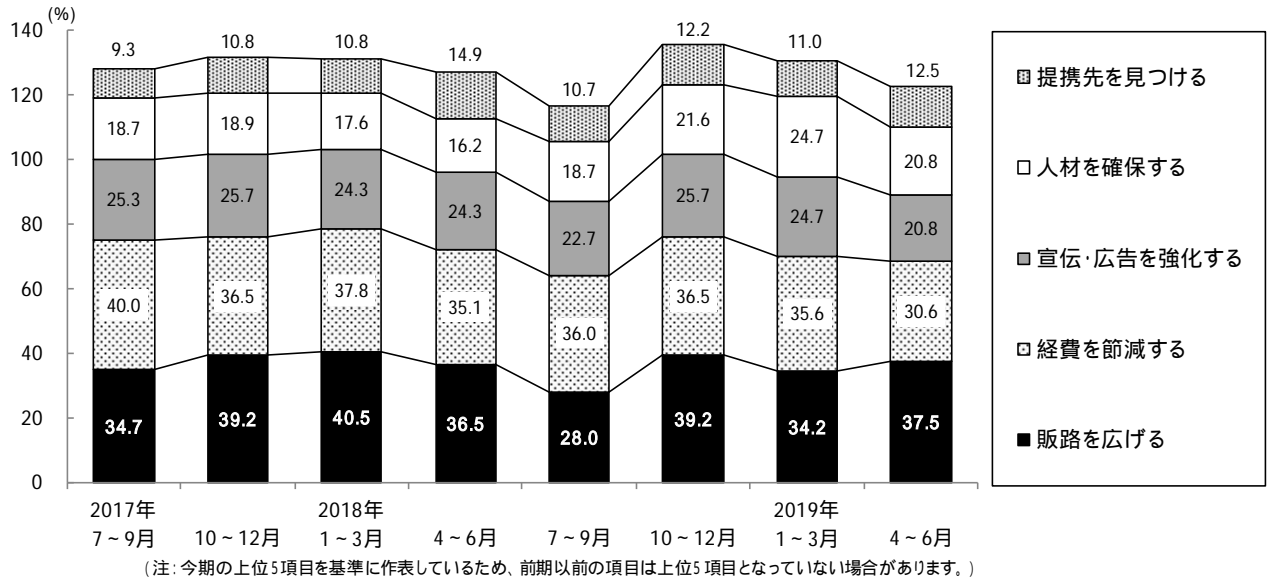
【サービス業】 経営上の問題点 (複数回答)

2018年7～9月期		2018年10～12月期		2019年1～3月期		2019年4～6月期	
同業者間の競争の激化	38.7%	同業者間の競争の激化	41.9%	同業者間の競争の激化	38.4%	同業者間の競争の激化	41.7%
売上の停滞・減少	25.3%	売上の停滞・減少	31.1%	売上の停滞・減少	31.5%	売上の停滞・減少	36.1%
人手不足	22.7%	人手不足	24.3%	人手不足	28.8%	人手不足	19.4%
材料価格の上昇	13.3%	材料価格の上昇	12.2%	大企業との競争の激化	12.3%	大企業との競争の激化	13.9%
大企業との競争の激化	12.0%	大企業との競争の激化		利幅の縮小		利幅の縮小	11.1%



【サービス業】 重点経営施策 (複数回答)

2018年7～9月期		2018年10～12月期		2019年1～3月期		2019年4～6月期	
経費を節減する	36.0%	販路を広げる	39.2%	経費を節減する	35.6%	販路を広げる	37.5%
販路を広げる	28.0%	経費を節減する	36.5%	販路を広げる	34.2%	経費を節減する	30.6%
宣伝・広告を強化する	22.7%	宣伝・広告を強化する	25.7%	宣伝・広告を強化する	24.7%	宣伝・広告を強化する	20.8%
人材を確保する	18.7%	人材を確保する	21.6%	人材を確保する	24.7%	人材を確保する	20.8%
技術力を強化する	12.0%	提携先を見つける	12.2%	提携先を見つける	11.0%	提携先を見つける 技術力を強化する	12.5%



建設業

注：コメント中の（）内のD.I.値は（前々期 前期 今期）となっている。

（１）業況、売上額、受注残、施工高、収益

業況（11.5 8.7 8.3）は前期同様の良好感が続いた。

売上額（18.5 12.9 9.7）は増加傾向がわずかに後退したが、受注残（16.2 11.3 11.3）と施工高（16.2 10.4 10.6）は前期並の増勢が続き、収益（13.6 4.2 8.9）は増加傾向を若干強めた。

来期の見通しについて、業況（1.7予想）は良好感がかなり後退すると見ており、売上額（4.5予想）、収益（4.0予想）、受注残（1.2予想）は増加から減少に大きく転じ、施工高（0.8予想）も増勢が一服すると予想している。

（２）請負価格、材料価格、在庫数量

請負価格（3.8 0.2 2.6）はわずかに上昇し、材料価格（32.1 39.3 32.5）は上昇がかなり弱まった。

在庫数量（1.9 3.0 0.2）は不足感が改善され適正範囲に保たれた。

来期の見通しについて、請負価格（5.4予想）は引続き上昇を強め、材料価格（25.4予想）は上昇傾向がかなり弱まると見ている。在庫数量（0.5予想）は適正範囲で推移すると予想している。

（３）資金繰り、借入金動向

資金繰り（3.0 6.4 1.4）はかなり改善し窮屈感を脱し、借入難易度（5.5 0.0 1.9）は容易さが幾分現れた。

設備投資を「実施した」企業（22.6% 16.9% 23.3%）は前期から6.4ポイント増加した。

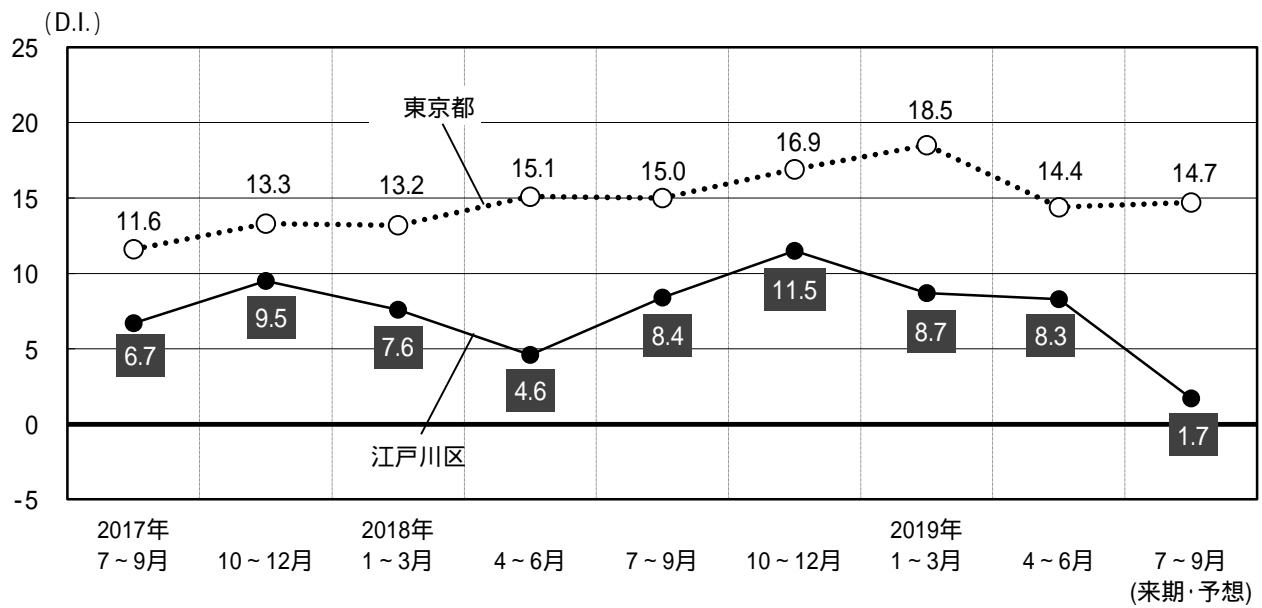
来期の見通しについて、資金繰り（4.6予想）は再び厳しい状況に陥むと予想している。

（４）経営上の問題点、重点経営施策

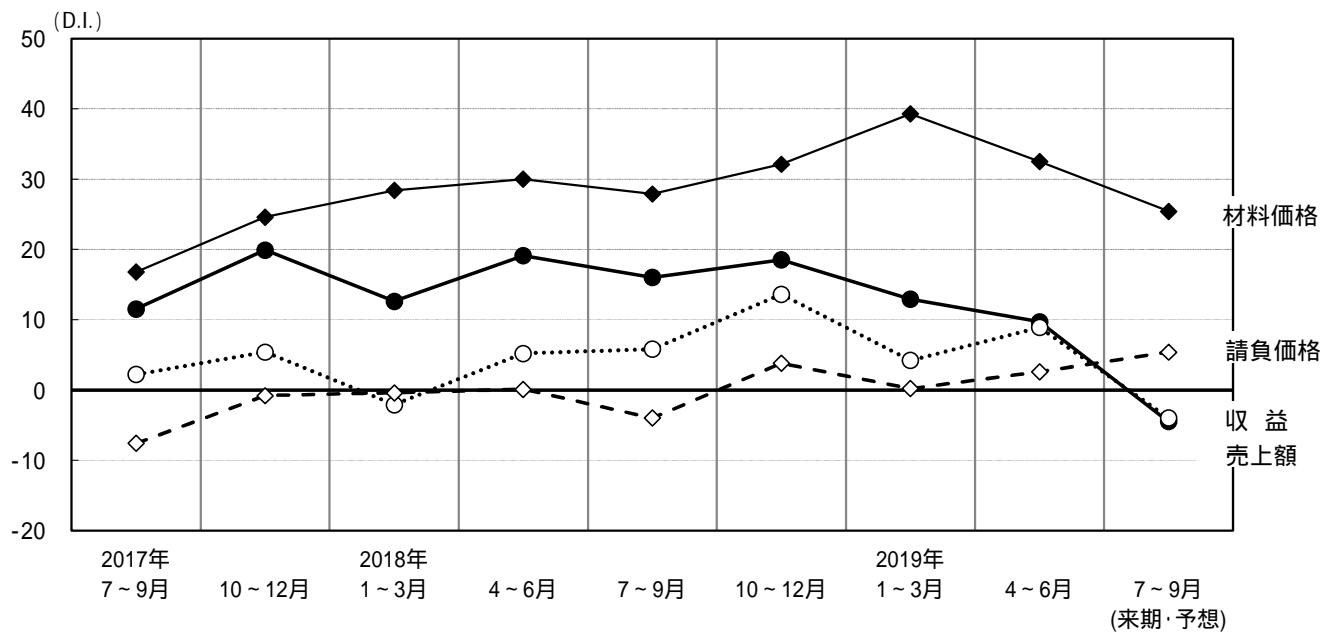
経営上の問題点は、「人手不足」（33.9%）が今期も最多となった。以下、「売上の停滞・減少」（27.4%）、「同業者間の競争の激化」、「人件費の増加」（各21.0%）、「利幅の縮小」、「材料価格の上昇」（各17.7%）の順であった。

重点経営施策では、「販路を広げる」（46.8%）が今期は最多となった。以下、「経費を節減する」（35.5%）、「人材を確保する」（33.9%）、「技術力を高める」（25.8%）、「情報力を強化する」（24.2%）の順であった。

【建設業】 業況（江戸川区と東京都全体の比較）

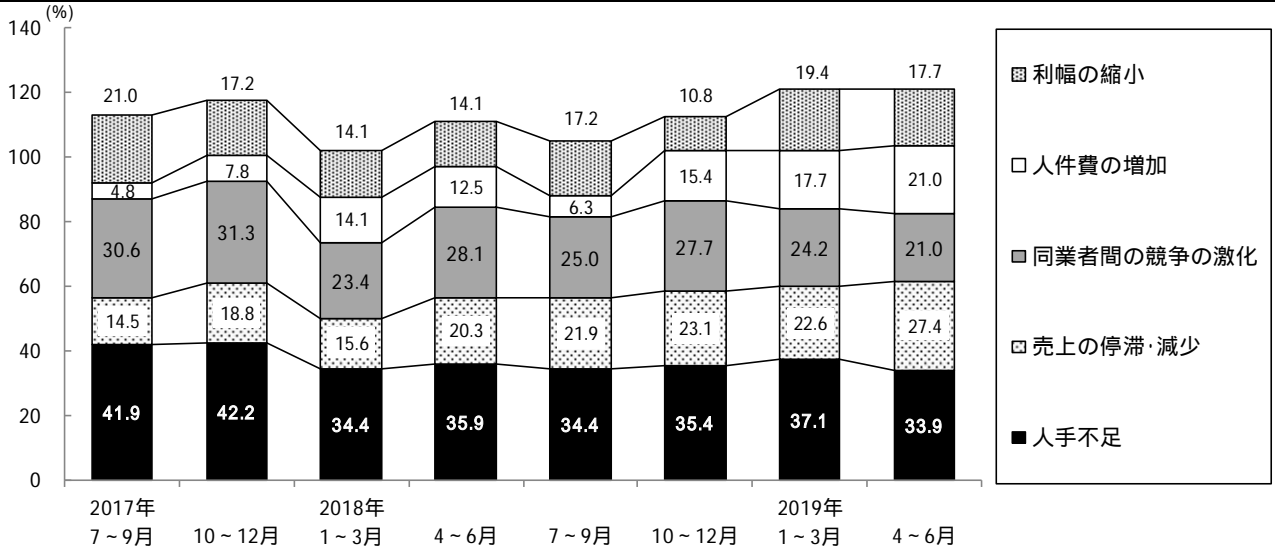


【建設業】 売上額、収益、請負価格、材料価格の推移



【建設業】 経営上の問題点 (複数回答)

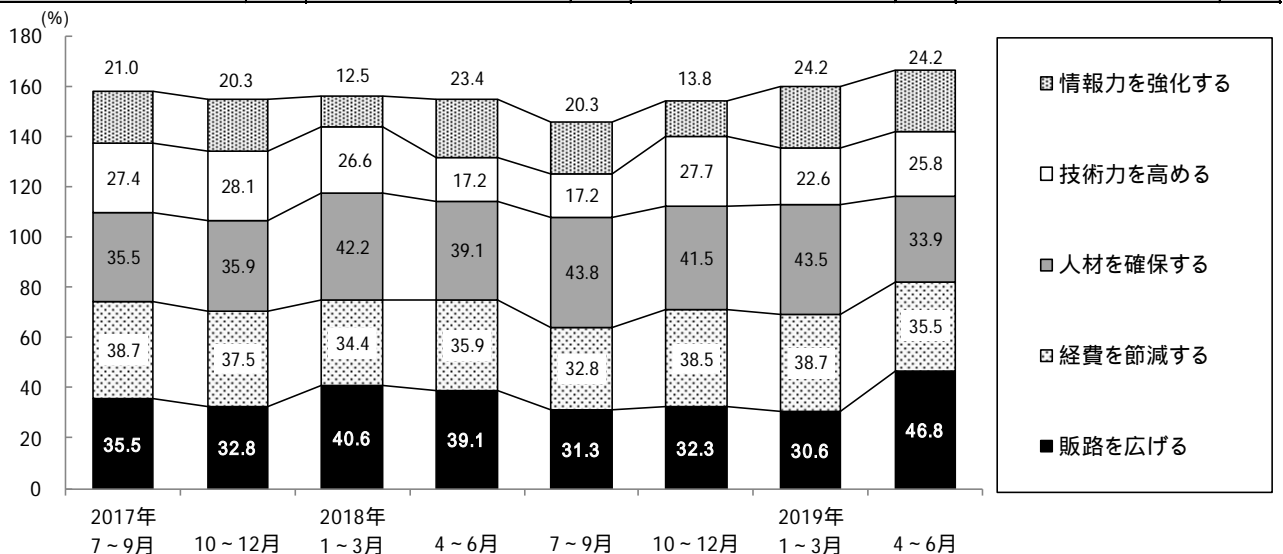
2018年7～9月期		2018年10～12月期		2019年1～3月期		2019年4～6月期	
人手不足	34.4%	人手不足	35.4%	人手不足	37.1%	人手不足	33.9%
同業者間の競争の激化	25.0%	同業者間の競争の激化	27.7%	同業者間の競争の激化	24.2%	売上の停滞・減少	27.4%
売上の停滞・減少	21.9%	材料価格の上昇	24.6%	売上の停滞・減少	22.6%	同業者間の競争の激化	21.0%
大手企業との競争の激化	20.3%	売上の停滞・減少	23.1%	利幅の縮小	19.4%	人件費の増加	
材料価格の上昇	18.8%	下請の確保難	20.0%	下請の確保難 人件費の増加	17.7%	利幅の縮小 材料価格の上昇	17.7%



(注: 今期の上位5項目を基準に作表しているため、前期以前の項目は上位5項目となっていない場合があります。)

【建設業】 重点経営施策 (複数回答)

2018年7～9月期		2018年10～12月期		2019年1～3月期		2019年4～6月期	
人材を確保する	43.8%	人材を確保する	41.5%	人材を確保する	43.5%	販路を広げる	46.8%
経費を節減する	32.8%	経費を節減する	38.5%	経費を節減する	38.7%	経費を節減する	35.5%
販路を広げる	31.3%	販路を広げる	32.3%	販路を広げる	30.6%	人材を確保する	33.9%
情報力を強化する	20.3%	技術力を高める	27.7%	情報力を強化する	24.2%	技術力を高める	25.8%
技術力を高める	17.2%	情報力を強化する	13.8%	技術力を高める	22.6%	情報力を強化する	24.2%



(注: 今期の上位5項目を基準に作表しているため、前期以前の項目は上位5項目となっていない場合があります。)

経営者から寄せられた声

[景況全般について]

- ・景況感は全くよくない。特に6月は悪化した。周囲もよくないと聞いている。(製造業)
- ・悪化している。(卸売業, 小売業)
- ・特に大きな変化はない。(学術研究, 専門・技術サービス業)
- ・景気は低調感が継続している。(学術研究, 専門・技術サービス業)
- ・景気は悪くなる一方。(生活関連サービス業, 娯楽業)

[受注・売上・単価・仕事量等について]

- ・5月の連休明けから動きが鈍くなり、6月は前期比12%減。しかし、4・5月が前年比より良かったため、4月～6月期トータルでは前年比横ばい。7月以降は動きが良くなればと思うが、例年7・8月は芳しくないの、あまり期待できない。(製造業)
- ・4・5月の売上は昨年比15%減で低調。(製造業)
- ・昨年後半から順調に依頼が増えている。(製造業)
- ・3月～5月中旬までまるっきりだめだったが、5月下旬から仕事が来はじめ、6月はまあまあだった。(製造業)
- ・今後、軽減税率やWindows7のサポート終了等で駆け込み需要はある見込み。(卸売業, 小売業)
- ・消費税増税前にリフォームの相談が増えており、仕事の量は増えている。(卸売業, 小売業)
- ・4～5月はフル稼働といった状態が続いた。6月に入り受注に一服感が出てきたが、7～8月の受注は順調に推移しており、お盆期間の受注はすでに満杯となっている。(建設業)
- ・売り上げ悪化が去年ようやく横這いになったかと思ったら、今年また下がるという動向に不安を感じる。(不動産業, 物品賃貸業)
- ・10連休を含んだこの時期は出来るだけ必要なこと以外は消費を抑えたような傾向だった。(医療, 福祉)
- ・全体的に消費税上昇前の駆け込み消費が起こっているような気がする。(学術研究, 専門・技術サービス業)
- ・集客が伸びず相変わらず厳しい状況。(生活関連サービス業, 娯楽業)

[経営上の課題]

- ・オリンピックを控え、物件は多数あるが、極端な人手不足から工程の進行が読めずにいる。(製造業)
- ・製品完成まで時間がかかるので、運営資金が大変。(製造業)
- ・人手不足傾向でなかなか歯車が合わない状況。(卸売業, 小売業)
- ・従業員も少なく仕事を受注することができない。今の人数で会社の体力がある限り経営していくつもりだが、とにかく法定福利費が負担となっている。(建設業)

[経営改善等に向けての取組み]

- ・他社との差別化を推進する事で得意先に寄与、もって強い信頼関係を築くよう努めている。(製造業)
- ・懸案となっていた求人に関しては、すでに2名が入社し、入社予定者も3名ほど確保することが出来た。応募してくる年齢層は40代半ばが多く、今後は20～30代の社員の確保を目指したいと考えている。(建設業)
- ・料金の値下げとかではなく人付き合いというものをより考え直す。(不動産業, 物品賃貸業)
- ・RPA等の省力化投資。(医療, 福祉)
- ・広報活動としてSNSの活用、地元を中心とした学校説明会、他校との合同説明会など、生徒募集における活動には力を入れている(教育, 学習支援業)
- ・高齢者を対象としたビジネスの展開を図り、社会における高齢者等の孤立を防止したい。(学術研究, 専門・技術サービス業)
- ・ドローンや3Dなどイノベーションに関連した付加価値を事業に取り入れられるよう進めている。(学術研究, 専門・技術サービス業)
- ・老人ホームへのカット訪問や、個人宅へのカット訪問。(生活関連サービス業, 娯楽業)

江戸川区の企業倒産動向

(2019年4月～6月)

2019年4～6月期の江戸川区の倒産件数は、前期比112.5%増の17件(前期8件)、負債総額は同588.0%増の13億14百万円(同1億91百万円)であった。業種別にみると、件数では小売業と建設業がともに4件で最も多かった。負債総額は卸売業が4億70百万円で最も多く、次いで製造業が3億30百万円であった。

江戸川区の業種別倒産動向

(単位：件・百万円)

	前年同期 2018年4～6月		前期 2019年1～3月		今期 2019年4～6月	
	件数	負債総額	件数	負債総額	件数	負債総額
製造業	0	0	0	0	2	330
卸売業	1	30	1	10	3	470
小売業	3	1,906	1	1	4	280
サービス業	0	0	1	10	3	50
建設業	2	84	4	100	4	134
不動産業	1	20	0	0	0	0
情報通信業・運輸業	0	0	1	70	1	50
宿泊業・飲食サービス業	0	0	0	0	0	0
その他	1	30	0	0	0	0
合計	8	2,070	8	191	17	1,314

東京都の企業倒産動向

(2019年4月～6月)

2019年4～6月期の東京都の倒産件数は、前期比4.3%増の384件(前期368件)、負債総額は同28.3%減の832億円(同1,161億円)であった。業種別にみると、件数では“サービス業”が84件で最も多く、次いで“卸売業”が62件であった。負債総額は“サービス業”が346億円で最も多く、以下、“小売業”が149億円、“卸売業”が128億円となった。

1. 概況

(単位：件・億円)

	前年同期 2018年 4～6月	前期 2019年 1～3月	今期 2019年 4～6月	前期比 (伸び率)	前年同期比 (伸び率)
	件数	382	368	384	4.3%
負債総額	1,918	1,161	832	-28.3%	-56.6%

2. 原因別倒産動向

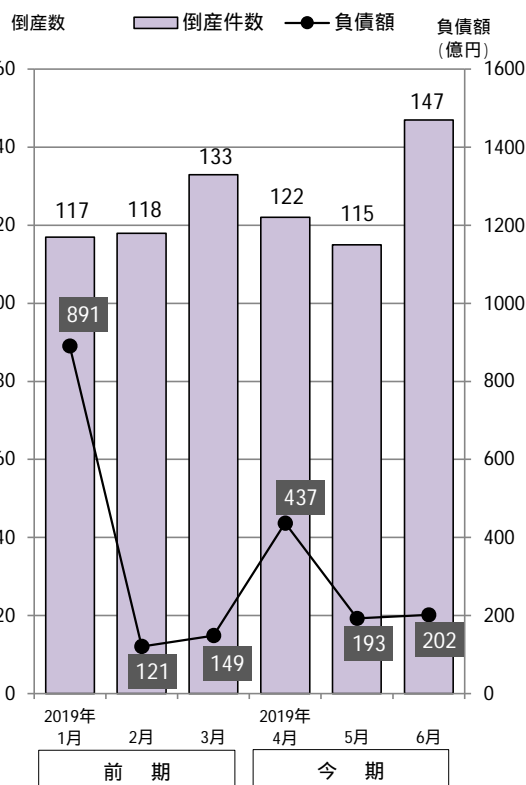
(単位：件)

	前年同期 2018年 4～6月	前期 2019年 1～3月	今期 2019年 4～6月	前期比 (伸び率)	前年同期比 (伸び率)
	販売不振	274	273	279	2.2%
既往のしわ寄せ	26	26	26	0.0%	0.0%
売掛金等回収難 (不況型計)	2	2	3	50.0%	50.0%
放漫経営	24	26	29	11.5%	20.8%
過小資本	4	6	9	50.0%	125.0%
他社倒産の余波	31	22	25	13.6%	-19.4%
信用性低下	4	2	2	0.0%	-50.0%
在庫状態悪化	0	0	1	-	-
設備投資過大	3	0	1	-	-66.7%
その他	14	11	9	-18.2%	-35.7%
合計	382	368	384	4.3%	0.5%

3. 業種別倒産動向

(単位：件・億円)

	前年同期 2018年4～6月		前期 2019年1～3月		今期 2019年4～6月	
	件数	負債総額	件数	負債総額	件数	負債総額
製造業	35	41	17	20	37	68
卸売業	59	278	71	124	62	128
小売業	46	41	40	27	50	149
サービス業	90	423	81	306	84	346
建設業	34	30	31	53	43	33
不動産業	20	92	17	49	16	19
情報通信業・運輸業	55	36	55	45	48	41
宿泊業・飲食サービス業	24	8	42	481	25	11
その他	19	968	14	57	19	37
合計	382	1,917	368	1,161	384	832



特別調査 「中小企業における人手不足の状況と働き方改革への対応について」

(2019年6月上旬調査)

注1. 以下に示す割合は区内の中小企業(全6業種 = 473事業所)の回答を集計したのですが、業種別の分析については企業数の少ない「卸売業」「不動産業」を除いた4業種についてのみ行っています。

注2. 回答により100%にならないこともあります。

本調査結果の特徴	人手の過不足状況	『不足』31.7%、『適正』67.4%、『過剰』0.8%
	女性・高齢者・外国人の活躍推進についての考え	『増やす方針』 『女性の活躍』11.8%、『高齢者の活躍』6.3% 『外国人の活躍』4.8%
	外国人労働者の採用状況	『採用(予定を含む)している』7.3%、『採用していない』92.8%
	働き方改革による影響	『影響を受ける』25.2%、『影響は受けない』38.2%
	働き方改革への取組み(取組みたい)事項	『長時間労働の是正(残業規制・有休義務化)』19.9% 『賃金上げと労働生産性の向上』19.2% 『何をやればよいのかわからない』49.8%

問1. 人手の過不足状況

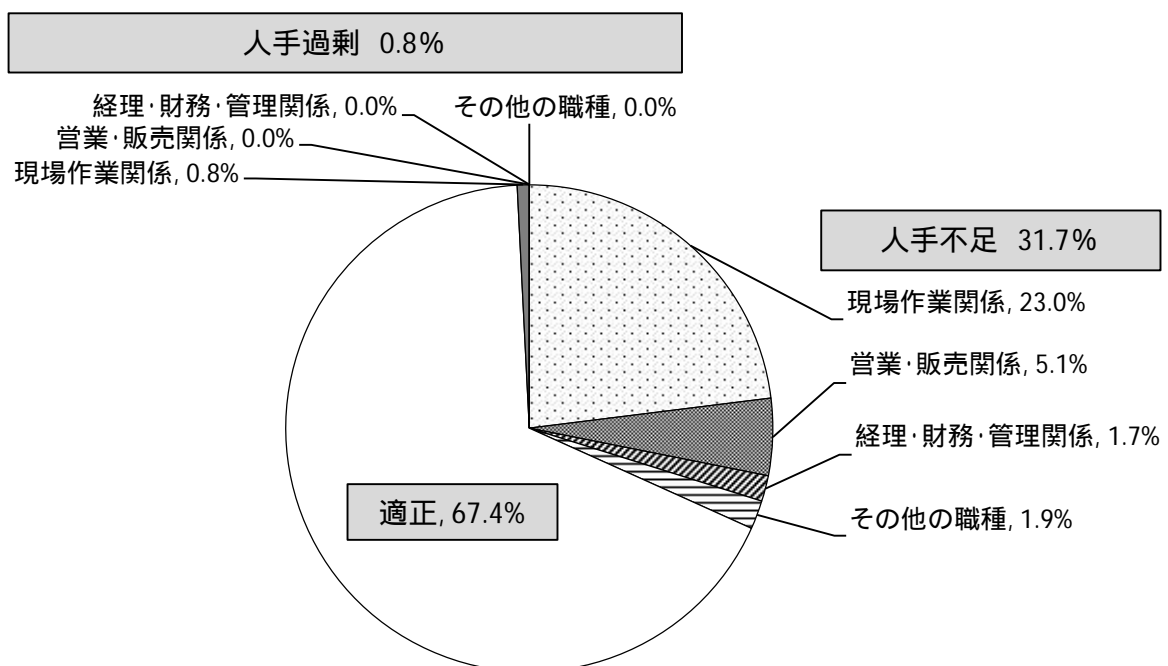
区内の中小企業を対象に、人手の過不足をどのように認識しているか調査した。

『適正』との回答が67.4%と6割台半ばを占めたが、『人手不足』との認識が31.7%あり、そのうち「現場作業関係」が不足している企業が23.0%と最も多く、次いで「営業・販売関係」が5.1%であった。

反対に『人手過剰』と感じているは、わずか0.8%にとどまっている。その内訳としては、「現場作業関係」0.8%がすべてであった。

業種別に見ると、『適正』との回答は、「小売業」が82.8%で最も高く、次いで「製造業」(68.6%)であった。また、『人手不足』と感じているは、「建設業」が55.8%で最も高く、次いで「サービス業」(35.9%)であった。

人手の過不足状況



回答により100%にならないこともあります。

問2. 女性・高齢者・外国人の活躍躍進についての考え

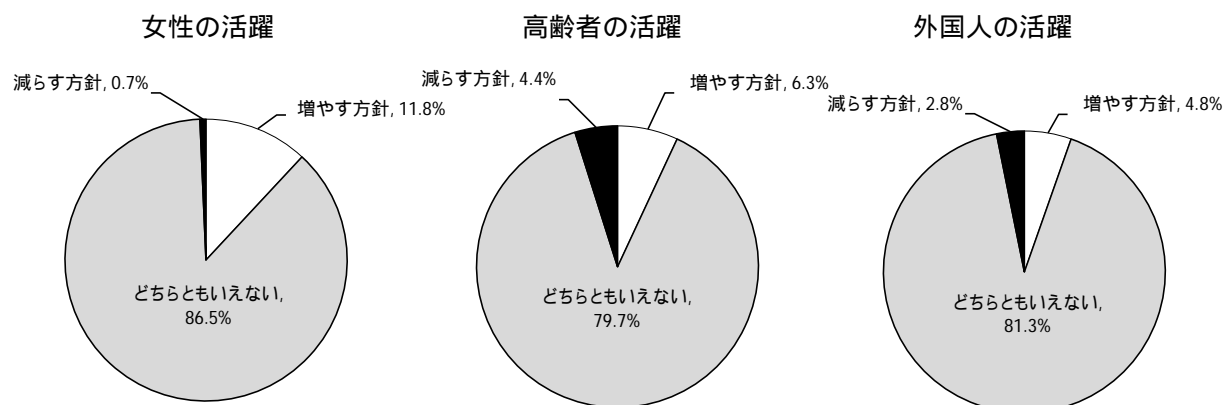
区内の中小企業における女性・高齢者・外国人に活躍躍進についてどのように考えているか調査した。

まず、『女性の活躍』について、「増やす方針」が11.8%、反対に「減らす方針」は0.7%となった。

『高齢者の活躍』については、「増やす方針」が6.3%で、「減らす方針」(4.4%)を上回った。

『外国人の活躍』についても、「増やす方針」が4.8%で、「減らす方針」(2.8%)を上回った。

業種別に「増やす方針」の割合を見ると、『女性』では、「サービス業」(16.9%)が最も高く、「建設業」(8.5%)で最も低くなっている。『高齢者』では、「サービス業」(7.7%)が最も高く、「小売業」(4.5%)で最も低くなっている。『外国人』では、「建設業」(15.3%)が最も高く、「小売業」(2.2%)で最も低くなっている。



回答により 100%にならないこともあります。

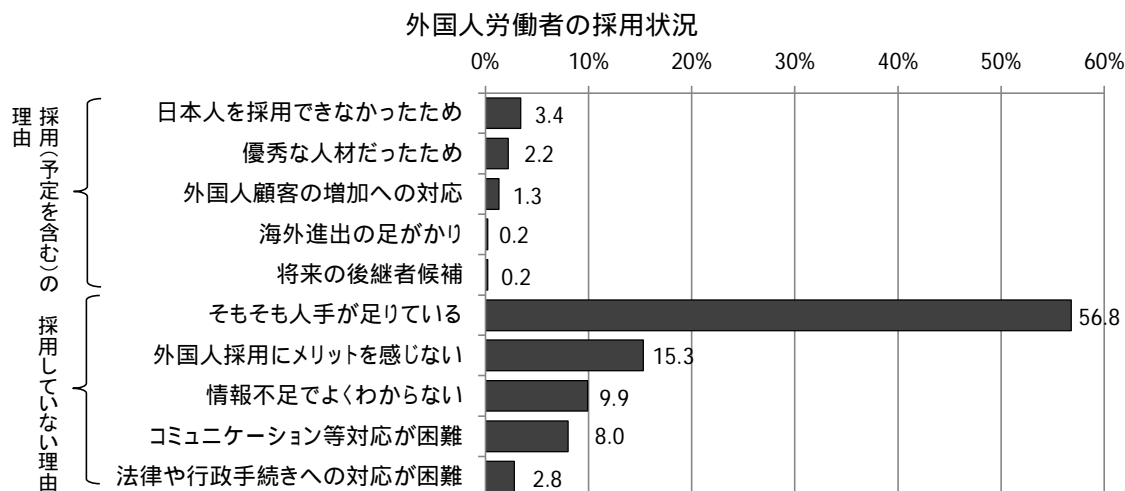
問3. 外国人労働者の採用状況

2019年4月より施行された「改正出入国管理法」を受けて、外国人労働者の受入れ拡大が見込まれている。こうしたなか、区内の中小企業における外国人労働者の採用状況を調査した。

『採用(予定を含む)』しているとした企業が7.3%で、『採用していない』とした企業が92.8%であった。

『採用(予定を含む)』しているの内訳としては、「日本人を採用できなかったため」が3.4%で最も高く、次いで「優秀な人材だったため」(2.2%)であった。一方、『採用していない』の内訳としては、「そもそも人手が足りている」が56.8%で最も高く、次いで「外国人採用にメリットを感じない」(15.3%)であった。

業種別に見ると、『採用(予定を含む)』しているは、「建設業」が14.7%で最も高く、次いで「サービス業」(9.0%)であった。一方、『採用していない』の理由別で見ると、「そもそも人手が足りている」は「小売業」(66.7%)が最も高く、「外国人採用にメリットを感じない」は「製造業」(17.8%)が最も高くなっている。



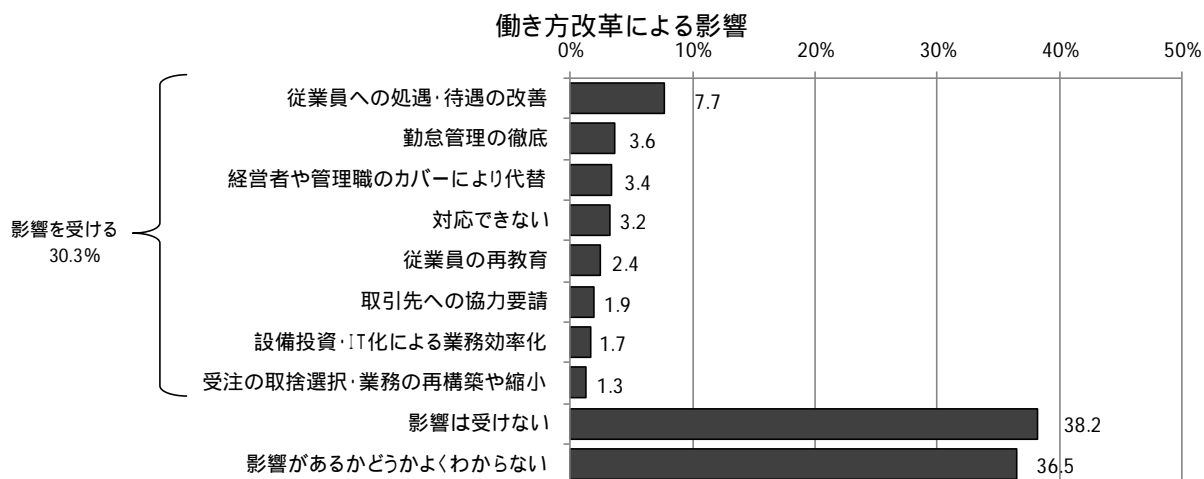
回答により 100%にならないこともあります。

問4.働き方改革による影響

働き方改革が推し進められる中、「時間外労働の上限規制」や「有給休暇取得の義務化」などの影響を区内中小企業で受けているかについて調査した。

「影響は受けない」との回答が38.2%で最も高く、反対に「影響を受ける」との回答は25.2%であった。また、対応前であって「影響があるかどうかよくわからない」が36.5%となっている。「影響を受ける」と回答した企業において、「現時点で取組んでいる」「今後最も重点的に取組もうとしている」対応の内容として、「従業員への処遇・待遇の改善」(7.7%)が最も高く、次いで「勤怠管理の徹底」(3.6%)であった。

業種別に見ると、「影響を受ける」との回答は、「建設業」が38.4%で最も高く、次いで「サービス業」(25.7%)であった。一方、「影響は受けない」との回答は、「サービス業」(40.9%)が最も高く、次いで「製造業」(40.6%)であった。



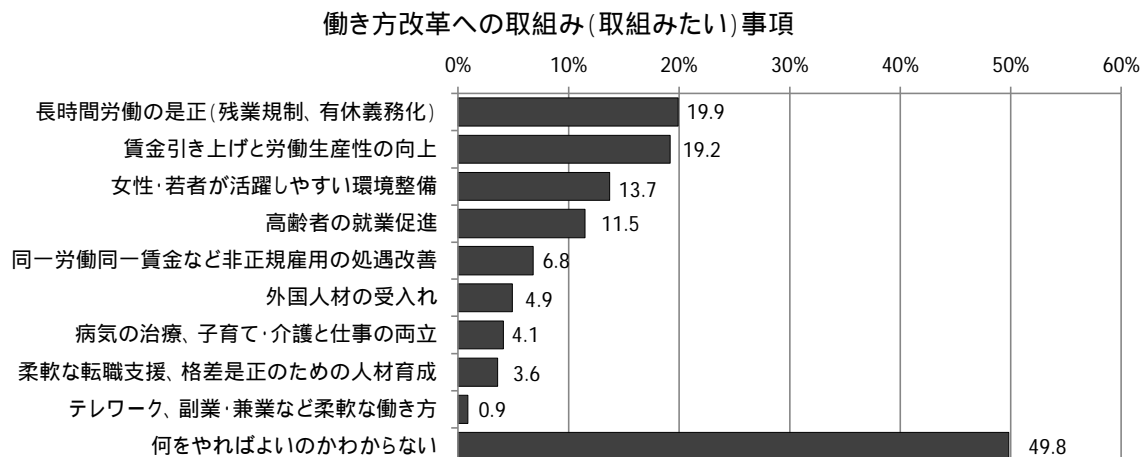
回答により 100%にならないこともあります。

問5.働き方改革への取組み(取組みたい)事項

働き方改革について何らかの対応をしていかなければならない時代にあって、「現在既に取組んでいる事項」あるいは「今後優先的に取組みたい事項」において調査した(最大3項目まで)。

回答割合は、「長時間労働の是正(残業規制、有休義務化)」が19.9%で最も高く、以下「賃金引上げと労働生産性の向上」(19.2%)、「女性・若者が活躍しやすい環境整備」(13.7%)、「高齢者の就業促進」(11.5%)と続いた。また、「何をやればよいのかわからない」が49.8%と約半数あり、働き方改革の意義は理解していても取組みが十分浸透していない状況が窺える。

業種別に見ると、「長時間労働の是正(残業規制、有休義務化)」は、「製造業」(21.5%)と「建設業」(21.3%)で他の業種に比較して高くなっている。「賃金引上げと労働生産性の向上」は「建設業」(39.3%)で特に高く、「女性・若者が活躍しやすい環境整備」は「サービス業」(17.9%)で最も高くなっている。また、「何をやればよいのかわからない」は「小売業」(71.7%)が特に高い割合となっている。



回答により 100%にならないこともあります。

		問5 働き方改革への取組み(取組みたい)事項											
		回答数	長時間・有休義務化(正・残業)	賃金引き上げと労働生産性の向上	女性・若者が活躍しやすい環境整備	高齢者の就業促進	正規雇用同一賃金など非同一労働同一賃金など	外国人材の受入れ	病気の治療、子育て・介護と仕事の両立	柔軟な転職支援、格差是正のための人材育成	テレワーク、副業・兼業など柔軟な働き方	何をやらねばよいかかわらない	
全業種		468	19.9	19.2	13.7	11.5	6.8	4.9	4.1	3.6	0.9	49.8	
製造業	製造業	191	21.5	19.9	13.6	12.0	7.3	4.7	5.8	4.2	1.0	46.1	
	従業者規模	1人~4人	94	8.5	12.8	9.6	7.4	4.3	2.1	5.3	3.2	-	67.0
		5人~9人	50	30.0	22.0	10.0	18.0	8.0	6.0	6.0	4.0	-	32.0
		10人~19人	29	44.8	27.6	24.1	20.7	13.8	6.9	6.9	3.4	3.4	13.8
		20人~29人	10	20.0	50.0	30.0	10.0	10.0	-	-	-	10.0	30.0
		30人~39人	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		40人~49人	1	-	100.0	-	-	-	-	100.0	100.0	-	-
		50人~99人	6	50.0	16.7	16.7	-	-	16.7	-	16.7	-	33.3
		100人~199人	1	-	-	100.0	-	100.0	-	-	-	-	-
		200人~300人	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		形態・立地	問屋・商社	16	12.5	25.0	18.8	-	6.3	6.3	6.3	6.3	-
	大メーカー		29	27.6	24.1	13.8	17.2	6.9	6.9	3.4	10.3	-	37.9
	中小メーカー・仲間業者		111	24.3	17.1	10.8	13.5	9.0	2.7	6.3	2.7	1.8	45.9
小売業者	25		16.0	28.0	20.0	12.0	-	12.0	8.0	-	-	44.0	
業況	最終需要家	8	-	12.5	12.5	-	12.5	-	-	12.5	-	75.0	
	良い	29	44.8	31.0	13.8	17.2	6.9	6.9	10.3	6.9	-	17.2	
	普通	119	21.0	19.3	11.8	10.9	9.2	4.2	5.0	4.2	1.7	48.7	
悪い	42	7.1	14.3	16.7	11.9	2.4	4.8	4.8	2.4	-	59.5		
小売業	92	12.0	4.3	12.0	7.6	3.3	1.1	1.1	1.1	1.1	71.7		
従業者規模	1人~4人	72	6.9	2.8	9.7	2.8	2.8	-	-	-	-	80.6	
	5人~9人	13	15.4	-	30.8	23.1	7.7	-	7.7	7.7	7.7	46.2	
	10人~19人	4	50.0	50.0	-	25.0	-	-	-	-	-	25.0	
	20人~29人	3	66.7	-	-	33.3	-	33.3	-	-	-	33.3	
	30人~39人	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	40人~49人	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	50人~99人	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	100人~199人	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	200人~300人	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	形態・立地	駅周辺商店街	13	15.4	7.7	-	-	7.7	-	-	-	-	69.2
住宅地隣接商店街		43	11.6	4.7	16.3	11.6	2.3	2.3	-	-	2.3	69.8	
団地内商店街		5	-	-	20.0	-	-	-	-	-	-	80.0	
その他		28	10.7	-	10.7	7.1	3.6	-	3.6	3.6	-	75.0	
業況	良い	6	50.0	-	16.7	33.3	-	16.7	-	-	-	33.3	
	普通	55	9.1	5.5	12.7	7.3	3.6	-	1.8	1.8	1.8	72.7	
	悪い	28	7.1	-	10.7	3.6	3.6	-	-	-	-	78.6	
サービス業	67	14.9	14.9	17.9	10.4	3.0	3.0	4.5	4.5	-	55.2		
従業者規模	1人~4人	43	4.7	7.0	11.6	7.0	-	-	2.3	2.3	-	74.4	
	5人~9人	9	-	11.1	-	11.1	11.1	-	22.2	22.2	-	44.4	
	10人~19人	4	50.0	50.0	25.0	50.0	-	-	-	-	-	-	
	20人~29人	4	50.0	-	50.0	-	-	50.0	-	-	-	-	
	30人~39人	1	100.0	100.0	100.0	-	-	-	-	-	-	-	
	40人~49人	3	33.3	33.3	66.7	33.3	-	-	-	-	-	-	
	50人~99人	2	50.0	50.0	-	-	50.0	-	-	-	-	50.0	
	100人~199人	1	100.0	100.0	100.0	-	-	-	-	-	-	-	
	200人~300人	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	業況	良い	10	50.0	30.0	50.0	10.0	-	10.0	-	10.0	-	20.0
普通		49	4.1	14.3	12.2	10.2	4.1	2.0	4.1	2.0	-	63.3	
悪い		8	37.5	-	12.5	12.5	-	-	12.5	12.5	-	50.0	
建設業	61	21.3	39.3	14.8	13.1	9.8	16.4	3.3	1.6	-	34.4		
従業者規模	1人~4人	23	8.7	34.8	8.7	8.7	8.7	-	-	-	-	52.2	
	5人~9人	18	16.7	16.7	22.2	11.1	11.1	22.2	11.1	5.6	-	38.9	
	10人~19人	9	22.2	77.8	22.2	22.2	11.1	22.2	-	-	-	22.2	
	20人~29人	6	83.3	50.0	16.7	16.7	16.7	16.7	-	-	-	-	
	30人~39人	1	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	40人~49人	2	-	100.0	-	50.0	-	50.0	-	-	-	-	
	50人~99人	2	-	50.0	-	-	-	100.0	-	-	-	-	
	100人~199人	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	200人~300人	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	形態・立地	官公庁	4	-	25.0	25.0	25.0	-	-	25.0	-	-	25.0
大企業		12	16.7	75.0	33.3	41.7	25.0	25.0	-	-	-	-	
中小企業		30	23.3	40.0	10.0	3.3	6.7	16.7	3.3	3.3	-	40.0	
個人		8	25.0	12.5	-	-	12.5	-	-	-	-	62.5	
業況	良い	16	25.0	56.3	18.8	25.0	6.3	31.3	-	-	-	18.8	
	普通	35	17.1	31.4	8.6	5.7	8.6	8.6	2.9	2.9	-	42.9	
	悪い	10	30.0	40.0	30.0	20.0	20.0	20.0	10.0	-	-	30.0	

東京都全体の中小企業の景況 (2019年4月～6月期)

2期連続で業況悪化

～ 厳しさ強まり後退感 ～

都内中小企業の景況・6業種合計 (D.I.)



業況判断DI(季節調整済、「良い」企業割合 - 「悪い」企業割合)は - 4.3(前期は - 2.9)と前期に比べ1.4ポイント低下し、2期連続で悪化した。業種別に見ると、サービス業で水面下ながらもわずかに改善が見られ、不動産業では前期並の好感が続いたが、卸売業では一段と厳しさが強まり、建設業も前期までの好調さが弱まっている。

来期は、不動産業においてやや好感感が弱まり製造業も悪化する予想だが、他の業種においては今期より幾分改善すると予想している。

	前期	今期	増減	来期予想	今期との増減
製造業	-3.2	-4.8	-1.6	-5.3	-0.5
卸売業	-5.7	-10.8	-5.1	-9.5	1.3
小売業	-17.9	-18.3	-0.4	-16.1	2.2
サービス業	-4.0	-1.9	2.1	0.2	2.1
建設業	18.5	14.4	-4.1	14.7	0.3
不動産業	10.5	10.7	0.2	7.5	-3.2
総合	-2.9	-4.3	-1.4	-3.6	0.7

前期(2019年1～3月) 来期(2019年7～9月)

< 製造業 >

業況は前期に続き悪化した。売上額・受注残・収益ともに、前期よりわずかに減少を強めた。価格面では販売価格はゆるやかな上昇で推移し、原材料価格は強い上昇傾向が続いている。資金繰りは2期連続厳しさが強まっていたが、今期はさらに苦しさを増した。在庫はわずかに過剰感が出ている。

経営上の問題点の上位項目は前期同様に、「売上の停滞・減少」(36%)、「同業者間の競争の激化」(28%)、「人手不足」「利幅の縮小」(いずれも17%)の順となっている。重点経営施策の上位項目についても前期同様変わらず、「販路を広げる」(56%)、「経費を節減する」(41%)、「人材を確保する」(17%)となった。

来期の業況はさらに厳しさが強まると見ている。売上額・受注残はさらに減少が強まる予想で、収益については今期同様の減益が続くと予想している。価格面では販売価格は今期同様にゆるやかな上昇で推移し、原材料価格は続いていた上昇がやや弱まると予想している。

< 小売業 >

業況は前期同様の厳しさが続いている。売上額・収益ともに減少が強まっている。価格面では販売価格は前期同様ゆるやかな上昇が続く、仕入価格は前期並の上昇が続いている。資金繰りは前期同様の苦しさを増し、人手不足感が続いている。

経営上の問題点の上位項目は、「売上の停滞・減少」(41%)、「大型店との競争の激化」(27%)、「同業者間の競争の激化」(26%)の順となった。重点経営施策の上位項目は前期同様に、「経費を節減する」(39%)、「品揃えを改善する」(32%)、「宣伝・広告を強化する」(23%)の順となった。

来期の業況は低迷が続く中でも改善傾向に戻ると予想している。売上額・収益ともにわずかながら減少が弱まると見ている。価格面では販売価格はわずかに上昇を強め、仕入価格の上昇はわずかに弱まると予想している。

< サービス業 >

業況は水面下ながらもわずかに改善した。売上額は横這いで、収益についても前期並のわずかな減少で推移した。価格面では料金価格は前期並のゆるやかな上昇傾向が続く、材料価格も前期並の上昇傾向が続いている。資金繰りは引続きやや厳しさが残り、人手不足が続いている。

経営上の問題点の上位項目は、第1位に「同業者間の競争の激化」(36%)、第2位に「売上の停滞・減少」(30%)が浮上し、次いで「人手不足」(28%)が続いている。重点経営施策の上位項目は、「販路を広げる」(39%)、「経費を節減する」(37%)、「人材を確保する」(26%)となっている。

来期の業況は回復が続いて水面下を脱すると予想している。売上額はわずかに増加し、収益については今期同様にわずかな減少にとどまって推移すると見ている。価格面では料金価格はゆるやかな上昇で推移し、材料価格は幾分上昇が弱まると予想している。

< 建設業 >

業況は前期まで続いていた増勢が一服した。売上額・受注残・施工高・収益についても増加幅が縮小し、好調感が続く中で勢いが弱まっている。価格面では請負価格は前期並のゆるやかな上昇が続く、材料価格は前期同様の大幅な上昇が続いている。資金繰りに窮屈感は見られない。

経営上の問題点の上位項目は前期同様に、「人手不足」(40%)、「同業者間の競争の激化」(29%)、「材料価格の上昇」(21%)の順となっている。重点経営施策の上位項目は、「人材を確保する」(44%)、「販路を広げる」(40%)、「経費を節減する」(39%)の順となった。

来期の業況は今期同様の業況感で推移すると予想している。売上額・受注残・施工高・収益いずれも今期より増加幅が縮小すると見ている。価格面では請負価格は今期並の上昇で、材料価格は続いていた上昇度合いが弱まると予想している。資金繰りはわずかながら厳しさが出てくると見ている。

(一般社団法人 東京都信用金庫協会調べ)

江戸川区と東京都全体の比較表

(2019年4月～6月期)

製造業

【今期実績の比較】

	全体		食料品		一般、金型、電気、輸送、精密機械器具		金属製品、建設用金属製品		パルプ・紙・紙加工品、出版業、印刷業、製版業、製本業		パルプ・紙、印刷、製本業		木材・木製品、家具・装備品		繊維工業、衣服・その他繊維製品		プラスチック製品	
	江戸川区	全都	江戸川区	全都	江戸川区	全都	江戸川区	全都	江戸川区	全都	江戸川区	全都	江戸川区	全都	江戸川区	全都	江戸川区	全都
業況	-6	-5	-15	-6	11	5	-1	-2	-15	-20	-15	-20	-14	-13	-23	-11	17	1
売上額	-6	-3	-12	-4	17	6	2	2	-15	-15	-15	-16	-7	-4	-30	-5	1	-4
受注残	-5	-2	-3	-2	15	5	-3	0	-17	-10	-17	-11	0	-5	-27	-7	7	-1
収益	-6	-5	-6	-8	12	2	5	0	-15	-14	-15	-15	-10	-10	-28	-7	8	-2
販売価格	-1	1	14	3	9	4	0	3	-5	-3	-5	-4	-9	0	-20	-2	-6	1
原材料価格	20	19	28	24	23	19	26	23	22	18	22	17	13	15	4	16	20	19
原材料在庫	2	3	2	-2	-1	3	6	3	1	1	1	0	14	6	-17	-2	2	2
資金繰り	-6	-8	-9	-13	5	-2	-4	-5	-11	-15	-11	-16	-18	-8	-19	-17	2	-11
雇用																		
残業時間	-1	1	7	-4	10	3	0	3	-17	-3	-17	-4	7	1	0	5	0	4
人手	-10	-14	-21	-15	-18	-17	-3	-11	-13	-8	-13	-7	0	-9	0	-16	-12	-19
同期比																		
売上額	-7	-3	0	4	10	4	-4	1	-22	-14	-22	-15	-7	-7	-25	-4	18	1
収益	-8	-6	-7	-4	5	0	0	-2	-31	-16	-31	-17	-7	-8	-25	-7	0	-5
経営上の問題点																		
売上の停滞・減少	34	36	36	34	28	30	31	33	35	46	35	45	27	40	33	30	17	28
原材料高	19	15	29	29	15	14	17	15	26	14	26	14	13	14	17	7	17	21
同業者間の競争の激化	19	28	14	28	23	27	28	22	26	38	26	38	20	26	25	37	6	22
利幅の縮小	17	17	21	17	18	16	10	17	22	21	22	21	13	14	-	17	6	13
人手不足	12	17	21	16	13	19	10	18	4	12	4	12	7	11	-	18	17	18
重点経営施策																		
販路を広げる	52	56	71	64	40	53	41	50	70	64	70	63	60	62	58	56	44	56
経費を節減する	38	41	43	40	30	36	35	40	35	50	35	50	33	37	42	43	33	37
情報力を強化する	16	14	7	11	25	14	7	14	22	17	22	15	-	12	25	15	6	14
人材を確保する	12	17	7	18	13	21	14	19	9	12	9	12	7	14	-	18	22	21
新製品・技術を開発する	11	13	14	22	15	15	14	8	13	9	13	8	-	6	17	11	11	16
借入の難易度	-1	2	-27	-6	3	6	-4	2	5	0	5	0	0	-3	-8	-10	15	6

【来期見通しの比較】

業況	-6	-1	-1	-7	8	12	-2	0	-21	-17	-21	-17	-16	-15	-26	-15	11	-1
売上額	-3	1	-4	-7	13	12	-1	3	-28	-14	-28	-13	-4	-6	-18	-10	9	5
受注残	-4	0	0	-8	9	10	-3	0	-24	-10	-24	-11	-9	-5	-16	-9	9	3
収益	-5	-2	-4	-11	7	7	1	1	-19	-12	-19	-14	-3	-11	-17	-6	9	1
販売価格	-1	2	9	4	6	4	-3	3	4	-2	4	-4	-9	-2	-15	-1	0	0
原材料価格	14	17	26	20	12	15	21	22	18	15	18	15	9	9	2	13	9	16
原材料在庫	1	0	8	-3	1	2	3	2	5	-1	5	-2	5	-2	-10	0	2	3
資金繰り	-6	-7	-2	-11	-4	0	-6	-6	-6	-14	-6	-15	-16	-7	-22	-14	-4	-10
雇用																		
残業時間	1	1	7	-2	3	4	0	-1	-13	-2	-13	-2	6	3	0	2	6	2
人手	-14	-15	-14	-11	-13	-19	-15	-14	-21	-11	-21	-10	-19	-11	0	-15	-12	-17

*季節変動調整済D-1を表示している項目。業況、売上額、受注残、収益、販売価格、原材料価格、原材料在庫、資金繰り

*単純D-1を表示している項目。雇用面、同期比、借入の難易度

*企業割合(%)を表示している項目。経営上の問題点、重点経営施策

小売業

【今期実績の比較】

		全体		家具・じゅう器、 家電・家庭用機械		飲食料品		衣服、呉服、 身の回り品	
		江戸川区	全都	江戸川区	全都	江戸川区	全都	江戸川区	全都
業況		-30	-18	-28	-14	-32	-20	-11	-25
売上額		-12	-15	-18	-13	-9	-15	-4	-18
収益		-13	-17	-18	-11	-13	-17	-5	-20
販売価格		1	3	-11	-4	10	8	-2	-2
仕入価格		11	13	-11	2	12	18	0	1
在庫		4	4	6	4	1	4	-1	9
資金繰り		-10	-14	-9	-11	-7	-12	1	-17
雇用	残業時間	-2	0	-9	-1	-9	-1	0	-1
	人手	-5	-10	-9	-7	-6	-12	0	-7
同期比	売上額	-8	-12	-9	-9	-6	-12	8	-15
	収益	-12	-15	-18	-9	-6	-16	0	-17
	販売価格	5	4	0	-1	15	8	0	-4
経営上の問題点	売上の停滞・減少	41	41	18	38	38	38	36	48
	大型店との競争の激化	27	27	46	38	21	33	43	26
	同業者間の競争の激化	27	26	18	27	21	23	57	29
	商店街の集客力の低下	14	15	27	14	12	13	7	18
	仕入先からの値上げ要請	11	9	18	5	18	10	-	4
重点経営施策	経費を節減する	32	39	27	33	32	38	7	34
	品揃えを改善する	29	32	27	33	27	34	36	41
	宣伝・広告を強化する	27	23	46	29	29	20	43	27
	売れ筋商品を取り扱う	22	20	27	23	9	23	21	22
	商店街事業を活性化させる	13	15	18	17	12	15	14	18
借入の難易度		-6	-6	0	2	0	-4	-20	-12

【来期見通しの比較】

業況		-30	-16	-29	-11	-32	-17	-17	-24
売上額		-17	-12	-19	-15	-15	-12	-8	-16
収益		-20	-14	-20	-15	-18	-15	-7	-18
販売価格		1	4	-4	-1	14	9	1	1
仕入価格		9	11	-4	2	15	16	2	1
在庫		5	3	4	3	4	2	0	5
資金繰り		-11	-13	-8	-12	-7	-12	-10	-15
雇用	残業時間	-7	-1	-10	-1	-12	-2	0	1
	人手	-5	-11	-10	-7	-6	-13	0	-8

* 季節変動調整済D・Iを表示している項目。業況、売上額、収益、販売価格、仕入価格、在庫、資金繰り

* 単純D・Iを表示している項目。雇用面、同期比、借入の難易度

* 企業割合(%)を表示している項目。経営上の問題点、重点経営施策

サービス業

【今期実績の比較】

		全 体	
		江戸川区	全都
業況		-6	-2
売上額		-13	0
収益		-12	-3
料金価格		-1	3
材料価格		17	13
資金繰り		-16	-4
雇用	残業時間	-6	1
	人手	-21	-24
同期比	売上額	-10	2
	収益	-6	-2
経営上の問題点	同業者間の競争の激化	42	36
	売上の停滞・減少	36	30
	人手不足	19	28
	大企業との競争の激化	14	6
	利幅の縮小	11	11
重点経営施策	販路を広げる	38	39
	経費を節減する	31	37
	人材を確保する	21	26
	宣伝・広告を強化する	21	21
	技術力を強化する	13	12
借入の難易度		-8	1

建設業

【今期実績の比較】

		全 体	
		江戸川区	全都
業況		8	14
売上額		10	13
受注残		11	13
施工高		11	13
収益		9	8
請負価格		3	6
材料価格		33	29
在庫		0	1
資金繰り		1	0
雇用	残業時間	-3	2
	人手	-30	-33
同期比	売上額	8	16
	収益	7	10
経営上の問題点	人手不足	34	40
	売上の停滞・減少	27	20
	人件費の増加	21	12
	同業者間の競争の激化	21	29
	材料価格の上昇	18	21
重点経営施策	販路を広げる	47	40
	経費を節減する	36	39
	人材を確保する	34	44
	技術力を高める	26	22
	情報力を強化する	24	20
借入の難易度		2	6

【来期見通しの比較】

業況		-8	0
売上額		-16	1
収益		-15	-2
料金価格		-3	3
材料価格		14	12
資金繰り		-15	-4
雇用	残業時間	-6	-1
	人手	-21	-24

【来期見通しの比較】

業況		2	15
売上額		-5	12
受注残		-1	12
施工高		1	10
収益		-4	6
請負価格		5	6
材料価格		25	25
在庫		-1	0
資金繰り		-5	-1
雇用	残業時間	-3	2
	人手	-30	-34

* 季節変動調整済D・Iを表示している項目。

【サービス業】:業況、売上額、収益、料金価格、材料価格、資金繰り

【建設業】:業況、売上額、受注残、施工高、収益、請負価格、材料価格、在庫、資金繰り

* 単純D・Iを表示している項目。雇用面、同期比、借入の難易度

* 企業割合(%)を表示している項目。経営上の問題点、重点経営施策

江戸川区の業種別転記表

(2019年4月～6月期)

製造業

転記表 No.1

2019年4月～6月期

注:各項目の右側は、前期調査における予想(予定)値です。

項目	調査期	2017年		2017年		2018年		2018年		2018年		2018年		2019年		2019年		対前期比	2019年7～9月期
		7月～9月期	10月～12月期	10月～12月期	1月～3月期	4月～6月期	7月～9月期	10月～12月期	1月～3月期	4月～6月期	7月～9月期	10月～12月期	1月～3月期	4月～6月期					
業況	良い	16.0	10.5	14.7	13.5	14.3	10.1	11.7	10.2	12.2	8.4	15.3	11.0	16.0	13.1	15.9	13.1		13.7
	普通	56.6	66.6	63.0	64.9	65.7	69.6	65.0	71.3	63.9	71.4	61.5	71.0	60.5	67.7	62.0	68.8		63.1
	悪い	27.4	22.9	22.3	21.6	20.0	20.3	23.3	18.5	23.9	20.2	23.2	18.0	23.5	19.2	22.1	18.1		23.2
	D・I	-11.4	-12.4	-7.6	-8.1	-5.7	-10.2	-11.6	-8.3	-11.7	-11.8	-7.9	-7.0	-7.5	-6.1	-6.2	-5.0		-9.5
	修正値	-11.8	-15.4	-9.7	-10.2	-7.1	-10.3	-12.0	-8.4	-11.6	-12.8	-9.6	-8.7	-7.9	-6.5	-6.2	-5.5	1.7	-9.2
	傾向値	-10.1		-10.8		-10.1		-9.0		-9.1		-9.2		-9.5		-9.0			
売上額	増加	16.9	10.3	16.4	11.8	16.7	11.3	14.0	10.0	10.2	8.7	14.8	8.3	18.6	11.4	17.4	12.1		12.4
	変らず	57.7	69.5	64.8	71.7	63.3	70.8	63.8	73.3	66.9	74.4	61.1	74.6	61.8	72.3	60.0	74.3		68.4
	減少	25.4	20.2	18.8	16.5	20.0	17.9	22.2	16.7	22.9	16.9	24.1	17.1	19.6	16.3	22.6	13.6		19.2
	D・I	-8.5	-9.9	-2.4	-4.7	-3.3	-6.6	-8.2	-6.7	-12.7	-8.2	-9.3	-8.8	-1.0	-4.9	-5.2	-1.5		-6.8
	修正値	-7.8	-12.5	-3.8	-7.2	-5.5	-4.8	-9.0	-7.0	-10.9	-9.6	-9.5	-10.0	-2.4	-3.7	-5.9	-2.7	-3.5	-7.3
	傾向値	-9.4		-8.8		-7.0		-5.8		-6.1		-7.5		-8.1		-7.4			
受注残	増加	15.0	8.9	15.5	8.5	15.2	12.3	13.5	8.1	9.3	7.7	15.8	7.3	17.1	10.4	13.3	11.6		10.4
	変らず	62.5	72.3	70.4	75.5	66.7	72.1	67.7	76.7	67.8	75.9	65.0	75.1	63.8	73.3	67.2	72.8		72.5
	減少	22.5	18.8	14.1	16.0	18.1	15.6	18.8	15.2	22.9	16.4	19.2	17.6	19.1	16.3	19.5	15.6		17.1
	D・I	-7.5	-9.9	1.4	-7.5	-2.9	-3.3	-5.3	-7.1	-13.6	-8.7	-3.4	-10.3	-2.0	-5.9	-6.2	-4.0		-6.7
	修正値	-7.3	-11.1	-1.3	-9.6	-5.0	-4.0	-4.7	-6.8	-12.0	-8.8	-6.2	-11.2	-2.6	-6.9	-4.8	-4.2	-2.2	-6.1
	傾向値	-7.9		-7.6		-6.0		-4.3		-4.3		-5.7		-6.2		-6.2			
収益	増加	15.0	6.6	16.4	9.9	15.2	10.4	12.1	8.1	6.8	6.8	12.3	6.3	13.6	9.9	14.9	10.1		9.3
	変らず	59.2	70.9	64.8	71.7	62.4	70.7	64.2	72.4	68.3	74.4	64.5	75.2	68.3	73.8	65.1	75.3		71.5
	減少	25.8	22.5	18.8	18.4	22.4	18.9	23.7	19.5	24.9	18.8	23.2	18.5	18.1	16.3	20.0	14.6		19.2
	D・I	-10.8	-15.9	-2.4	-8.5	-7.2	-8.5	-11.6	-11.4	-18.1	-12.0	-10.9	-12.2	-4.5	-6.4	-5.1	-4.5		-9.9
	修正値	-10.7	-18.1	-5.1	-9.9	-7.4	-8.7	-12.6	-10.9	-16.8	-12.8	-12.6	-13.0	-4.4	-7.3	-5.8	-4.8	-1.4	-9.5
	傾向値	-11.7		-11.1		-9.2		-8.1		-8.9		-10.9		-11.6		-10.5			
価格動向	販売価格	-1.4	-2.8	-1.0	-3.3	-1.4	-3.3	-2.4	-3.8	-1.0	-2.4	-1.0	-2.0	-1.0	-2.0	-1.0	-0.5		-1.1
	"修正値	-2.2	-4.0	-2.0	-3.2	-1.5	-4.2	-3.5	-4.6	-1.0	-3.0	-1.2	-1.3	-0.2	-1.9	-1.3	-1.0	-1.1	-1.7
	"傾向値	-3.7		-2.9		-2.1		-1.6		-1.5		-1.5		-1.4		-1.2			
	原材料価格	14.6	14.1	17.9	12.2	20.0	19.8	18.4	14.9	21.9	14.5	18.8	14.6	16.0	13.3	20.5	13.0		12.9
	"修正値	15.5	14.1	16.6	11.6	19.4	18.6	17.2	14.3	23.4	15.2	18.7	16.1	17.5	13.0	19.7	13.9	2.2	13.5
	"傾向値	13.8		15.1		16.8		17.8		18.6		19.7		19.3		19.0			
在庫・資金繰り	原材料在庫数量	2.8	1.8	-0.9	1.9	1.4	-1.5	0.4	-0.5	-3.9	-0.5	-3.4	-3.4	-0.5	-2.0	3.1	0.0		3.1
	"修正値	2.2	0.9	-0.9	1.6	1.6	-1.4	-0.1	-0.4	-3.5	-1.7	-2.2	-2.6	0.1	-1.2	1.9	0.5	1.8	1.7
	資金繰り	-4.7	-8.0	-9.4	-7.1	-10.5	-8.0	-5.3	-10.0	-6.4	-2.5	-7.9	-4.0	-10.0	-6.4	-2.6	-7.0		-4.6
"修正値	-6.3	-10.2	-9.1	-8.6	-10.2	-7.3	-8.2	-10.5	-7.8	-5.6	-7.7	-6.0	-8.6	-6.2	-5.7	-6.2	2.9	-7.0	
前年同期比	売上額	-6.6		-1.9		1.9		0.0		-8.3		-6.0		-1.5		-6.6			
	収益	-12.2		-8.4		-2.9		-5.8		-15.2		-10.3		-5.5		-8.2			
雇用	残業時間	-6.6	-0.4	-2.3	-2.9	-1.5	-4.7	-1.5	-1.9	-2.9	-2.5	0.5	0.0	0.5	1.0	-0.5	0.5		-1.5
	人手	-12.8	-11.9	-11.8	-13.8	-13.9	-10.4	-13.2	-13.9	-9.3	-12.6	-11.3	-11.7	-12.6	-11.4	-10.2	-13.7		-11.4
借入金	借入をした/借入の予定あり(%)	23.2	14.7	20.9	16.4	19.6	14.8	18.8	14.1	21.2	12.6	23.2	12.4	19.6	14.0	18.0	17.3		15.6
	借入しない/借入の予定なし(%)	76.8	85.3	79.1	83.6	80.4	85.2	81.2	85.9	78.8	87.4	76.8	87.6	80.4	86.0	82.0	82.7		84.4
	借入難易度	-1.1		0.0		-1.6		-3.8		1.7		-2.3		2.9		-1.2			
有効回答事業所数		214		214		210		207		205		203		200		196			

製造業

転記表 No.2

2019年4月～6月期

注：各項目の右側は、前期調査における予想(予定)値です。

項 目	調査期	2017年		2017年		2018年		2018年		2018年		2018年		2019年		2019年		対 前期比	2019年 7～9月 期
		7月～9月期	10月～12月期	10月～12月期	10月～12月期	1月～3月期	1月～3月期	4月～6月期	4月～6月期	7月～9月期	7月～9月期	10月～12月期	10月～12月期	1月～3月期	1月～3月期	4月～6月期	4月～6月期		
設備投資動向(%)	現在の設備	-6.2	-7.6	-6.6	-5.3	-5.8	-5.3	-3.9	-4.8	-6.4	-2.4	-7.9	-3.9	-5.6	-5.5	-6.3	-6.7		-4.7
	実施した・予定あり	18.3	14.9	15.0	14.4	20.4	15.2	18.8	17.5	17.0	12.8	16.0	15.8	15.9	15.2	15.9	18.4		18.4
	事業用土地・建物	7.9	10.0	3.2	13.8	14.3	6.5	7.9	17.1	11.8	20.0	15.6	9.7	9.7	10.0	16.7	5.7		17.6
	機械・設備の新・増設	39.5	43.3	29.0	48.3	42.9	45.2	21.1	40.0	41.2	32.0	59.4	41.9	32.3	40.0	26.7	34.3		35.3
	機械・設備の更改	36.8	26.7	25.8	34.5	38.1	32.3	42.1	37.1	41.2	36.0	37.5	45.2	29.0	50.0	33.3	28.6		29.4
	事務機器	18.4	16.7	38.7	10.3	14.3	12.9	31.6	11.4	17.6	32.0	12.5	9.7	25.8	13.3	20.0	17.1		17.6
	車両	23.7	16.7	32.3	6.9	19.0	22.6	26.3	17.1	23.5	28.0	9.4	22.6	35.5	16.7	23.3	31.4		23.5
	その他	-	10.0	-	-	-	-	5.3	-	-	4.0	-	-	3.2	-	6.7	5.7		2.9
実施しない・予定なし	81.7	85.1	85.0	85.6	79.6	84.8	81.2	82.5	83.0	87.2	84.0	84.2	84.1	84.8	84.1	81.6		81.6	
経営上の問題点(%)	売上の停滞・減少	34.1		34.1		34.3		36.7		35.6		30.0		29.5		33.7			
	人手不足	12.1		11.2		15.2		15.5		16.1		13.3		16.0		11.7			
	大手企業との競争の激化	7.9		9.3		8.1		8.7		7.8		8.9		10.0		11.2			
	同業者間の競争の激化	22.9		26.2		21.0		23.7		22.9		20.2		25.0		19.4			
	親企業による選別の強化	2.3		0.9		1.9		1.4		2.4		3.0		2.5		2.0			
	輸入製品との競争の激化	3.7		4.2		5.7		6.8		5.4		6.4		5.0		5.6			
	合理化の不足	5.6		4.7		3.8		3.9		2.9		3.9		3.5		4.6			
	利幅の縮小	15.9		18.2		16.2		20.8		19.5		17.7		15.0		17.3			
	原材料高	10.3		14.5		18.6		22.7		16.1		16.3		16.0		19.4			
	販売納入先からの値下げ要請	7.9		7.9		8.6		7.2		8.3		7.9		6.0		5.1			
	仕入先からの値上げ要請	3.7		3.3		4.3		4.8		4.9		5.4		4.0		3.6			
	人件費の増加	5.6		4.2		6.7		5.3		6.3		3.4		5.0		7.7			
	人件費以外の経費増加	1.9		1.4		2.9		2.4		2.4		2.5		3.5		2.6			
	工場・機械の狭小・老朽化	14.5		11.7		12.4		7.2		10.7		6.9		8.5		7.7			
	生産能力の不足	4.7		3.7		5.2		4.3		5.9		5.9		3.0		3.1			
	下請の確保難	4.7		6.5		3.8		3.4		2.9		2.0		3.5		4.1			
	代金回収の悪化	0.5		0.5		1.0		1.0		1.0		1.0		1.0		0.5			
	地価の高騰	-		-		0.5		-		-		-		-		-			
	天候の不順	2.8		0.5		1.0		1.4		1.0		0.5		1.0		-			
	地場産業の衰退	2.8		2.8		2.4		2.9		3.9		2.0		3.0		2.6			
	大手企業・工場の縮小・撤退	0.5		0.5		0.5		0.5		1.0		1.0		0.5		1.0			
為替レートの変動	0.5		0.5		0.5		0.5		-		0.5		0.5		-				
その他	0.5		0.5		0.5		-		1.0		0.5		1.5		-				
問題なし	12.6		13.1		11.4		11.6		9.8		13.8		12.0		11.7				
重点経営施策(%)	販路を広げる	50.5		47.7		51.4		53.1		51.7		51.7		50.0		52.0			
	経費を節減する	37.9		42.1		41.4		42.0		43.4		39.4		39.0		38.3			
	情報力を強化する	13.1		10.7		13.3		13.0		12.7		12.3		13.0		15.8			
	新製品・技術を開発する	10.3		11.7		10.0		10.6		10.7		11.3		8.5		11.2			
	不採算部門を整理・縮小する	3.7		3.7		3.3		3.4		2.9		3.4		4.5		2.6			
	提携先を見つける	10.7		10.7		11.0		10.1		9.3		7.9		8.0		7.1			
	機械化を推進する	7.0		6.1		7.6		7.2		6.3		5.9		7.5		6.6			
	人材を確保する	13.1		14.5		15.2		13.0		15.1		10.3		12.5		11.7			
	バート化を図る	1.9		1.9		1.9		1.9		1.5		1.5		2.5		1.5			
	教育訓練を強化する	2.8		4.7		3.3		2.9		2.4		2.5		4.5		5.1			
	労働条件を改善する	2.3		0.9		1.4		1.9		3.4		2.0		3.0		1.5			
	工場・機械を増設・移転する	5.6		3.7		3.3		3.4		3.4		4.9		5.5		3.6			
	不動産の有効活用を図る	1.4		0.5		1.0		1.4		1.5		1.0		-		-			
	その他	-		0.5		0.5		-		-		0.5		0.5		0.5			
特になし	17.8		16.4		14.3		15.5		15.1		16.7		15.0		16.8				
有効回答事業所数	214		214		210		207		205		203		200		196				

小売業

転記表 No.1

2019年4月～6月期

注:各項目の右側は、前期調査における予想(予定)値です。

調査期		2017年		2017年		2018年		2018年		2018年		2018年		2019年		2019年		対	2019年
項目		7月～9月期		10月～12月期		1月～3月期		4月～6月期		7月～9月期		10月～12月期		1月～3月期		4月～6月期		前期比	7～9月期
業況	良い	6.1	5.1	5.1	6.2	6.5	6.3	10.1	5.5	9.3	9.3	7.4	7.4	4.2	5.3	6.7	3.2		4.4
	普通	65.6	62.2	63.6	66.0	62.3	63.2	60.6	59.3	58.7	62.9	61.0	64.9	61.1	64.9	61.1	62.1		64.5
	悪い	28.3	32.7	31.3	27.8	31.2	30.5	29.3	35.2	32.0	27.8	31.6	27.7	34.7	29.8	32.2	34.7		31.1
	D・I	-22.2	-27.6	-26.2	-21.6	-24.7	-24.2	-19.2	-29.7	-22.7	-18.5	-24.2	-20.3	-30.5	-24.5	-25.5	-31.5		-26.7
	修正値	-23.4	-32.0	-26.3	-23.6	-25.9	-24.8	-24.9	-29.5	-23.3	-23.2	-23.2	-22.8	-29.9	-24.5	-30.1	-30.0	-0.2	-30.3
	傾向値	-31.4		-27.8		-25.7		-24.1		-23.1		-23.0		-23.4		-24.9			
売上額	増加	7.1	5.0	9.1	2.0	5.3	4.1	6.1	3.3	11.3	1.0	8.4	7.2	6.3	5.3	11.1	4.2		5.6
	変わらず	72.7	77.2	71.7	81.7	71.3	74.5	66.6	75.0	68.1	78.6	70.5	76.3	71.8	77.7	70.0	77.0		74.4
	減少	20.2	17.8	19.2	16.3	23.4	21.4	27.3	21.7	20.6	20.4	21.1	16.5	21.9	17.0	18.9	18.8		20.0
	D・I	-13.1	-12.8	-10.1	-14.3	-18.1	-17.3	-21.2	-18.4	-9.3	-19.4	-12.7	-9.3	-15.6	-11.7	-7.8	-14.6		-14.4
	修正値	-13.2	-17.5	-12.6	-16.1	-17.9	-18.2	-25.0	-17.7	-10.1	-22.6	-15.2	-13.1	-14.7	-12.7	-12.2	-14.0	2.5	-17.3
	傾向値	-19.8		-15.9		-13.8		-14.5		-15.2		-15.0		-15.0		-13.0			
収益	増加	6.1	3.0	10.1	2.0	3.2	5.1	4.0	3.3	12.4	3.1	8.4	9.3	5.2	7.4	10.0	3.1		4.4
	変わらず	72.7	77.2	66.7	77.6	72.3	71.4	68.7	71.7	66.0	75.5	70.5	74.2	76.0	74.5	70.0	79.2		72.3
	減少	21.2	19.8	23.2	20.4	24.5	23.5	27.3	25.0	21.6	21.4	21.1	16.5	18.8	18.1	20.0	17.7		23.3
	D・I	-15.1	-16.8	-13.1	-18.4	-21.3	-18.4	-23.3	-21.7	-9.2	-18.3	-12.7	-7.2	-13.6	-10.7	-10.0	-14.6		-18.9
	修正値	-15.3	-20.2	-15.3	-20.6	-21.3	-19.3	-26.9	-20.7	-10.9	-21.4	-15.9	-12.3	-12.3	-12.9	-13.2	-13.3	-0.9	-20.0
	傾向値	-20.7		-17.8		-16.0		-16.9		-17.5		-16.7		-15.7		-13.0			
価格動向	販売価格	2.1	2.0	6.0	4.1	2.1	3.1	9.0	1.1	4.1	8.1	5.2	2.1	9.3	2.1	2.2	4.2		3.3
	"修正値	1.5	-0.1	4.5	4.5	1.2	3.7	5.6	-2.3	4.9	5.3	3.8	3.1	9.1	3.1	1.0	2.8	-8.1	1.0
	"傾向値	-1.6		0.5		2.3		3.9		5.1		5.2		6.0		6.1			
	仕入価格	9.1	9.9	10.1	7.2	8.5	9.2	12.2	5.5	8.2	11.2	10.5	3.1	9.4	7.4	12.3	10.4		11.1
	"修正値	10.1	7.6	9.1	9.5	8.0	8.9	10.7	3.8	9.7	9.3	10.0	5.7	9.3	7.4	11.4	9.7	2.1	9.0
	"傾向値	7.3		8.8		9.0		9.4		9.9		9.8		10.0		10.1			
在庫・資金繰り	在庫数量	-4.1	0.0	3.0	-3.1	-3.2	2.0	-1.0	-5.4	-6.1	-3.0	-1.1	-7.2	-2.1	1.1	6.7	-1.1		6.8
	"修正値	-2.2	-0.6	1.7	-2.6	-3.2	1.5	-2.0	-4.9	-3.1	-3.5	-2.5	-5.4	-1.9	-0.6	3.8	-0.4	5.7	4.7
	資金繰り	-9.0	-13.9	-16.2	-7.1	-16.1	-15.3	-16.2	-16.5	-14.4	-16.3	-12.6	-12.4	-13.6	-14.8	-7.7	-14.6		-10.1
	"修正値	-9.5	-16.2	-16.8	-8.7	-17.1	-15.3	-18.2	-16.7	-14.8	-18.0	-13.8	-14.2	-14.1	-15.5	-9.8	-14.4	4.3	-11.1
前年同期比	売上額	-13.1		-17.1		-23.4		-15.1		-13.4		-16.9		-16.6		-7.8			
	収益	-17.1		-18.1		-25.6		-23.2		-16.5		-13.7		-14.6		-12.2			
	販売価格	5.1		9.1		7.4		9.1		7.2		6.3		9.4		4.5			
雇用	残業時間	-1.0	-3.0	-4.1	0.0	-2.2	-3.1	-5.1	0.0	-2.1	-5.1	-4.3	-2.1	-4.3	-3.2	-2.3	-6.4		-6.9
	人手	-5.1	-4.0	-6.1	-5.2	-4.2	-7.1	-6.2	-5.4	-6.3	-5.1	-7.4	-7.3	-9.4	-7.6	-4.5	-12.6		-4.5
借入金	借入をした/借入の予定あり(%)	14.3	4.1	9.1	5.2	10.6	6.1	11.1	5.4	11.5	10.3	16.0	7.4	10.4	7.5	14.4	8.3		9.1
	借入しない/借入の予定なし(%)	85.7	95.9	90.9	94.8	89.4	93.9	88.9	94.6	88.5	89.7	84.0	92.6	89.6	92.5	85.6	91.7		90.9
	借入難易度	-11.4		-9.2		-8.8		-16.9		-12.1		-7.3		-9.1		-5.8			
有効回答事業所数		100		101		95		100		97		96		96		93			

小売業

転記表 No.2

2019年4月～6月期

注：各項目の右側は、前期調査における予想(予定)値です。

項目	調査期		2017年		2017年		2018年		2018年		2018年		2018年		2019年		2019年		対 前期比	2019年 7～9月 期
	7月～9月期	10月～12月期	7月～9月期	10月～12月期	1月～3月期	4月～6月期	7月～9月期	10月～12月期	1月～3月期	4月～6月期	7月～9月期	10月～12月期	1月～3月期	4月～6月期	7月～9月期	10月～12月期				
設備投資動向(%)	現在の設備	-6.1	-7.0	-5.1	-7.1	-6.4	-7.1	-7.1	-8.7	-8.3	-6.3	-7.4	-8.4	-2.1	-7.5	-5.6	-3.1			-5.8
	実施した・予定あり	4.2	4.2	4.0	2.2	1.1	5.1	6.1	2.3	3.2	7.3	3.2	5.4	5.3	4.4	8.0	5.4			2.4
	事業用土地・建物	-	25.0	50.0	-	-	-	33.3	-	33.3	28.6	-	20.0	20.0	25.0	-	40.0			-
	事務機器	25.0	25.0	25.0	-	100.0	60.0	33.3	50.0	33.3	14.3	66.7	20.0	20.0	25.0	71.4	40.0			100.0
	車両	25.0	-	-	-	100.0	40.0	33.3	-	-	28.6	-	40.0	40.0	25.0	14.3	20.0			-
	その他	50.0	50.0	50.0	100.0	-	40.0	16.7	50.0	66.7	42.9	66.7	40.0	20.0	50.0	28.6	-			-
	実施しない・予定なし	95.8	95.8	96.0	97.8	98.9	94.9	93.9	97.7	96.8	92.7	96.8	94.6	94.7	95.6	92.0	94.6			97.6
経営上の問題点(%)	売上の停滞・減少	51.0		46.5		45.3		43.0		43.3		37.5		40.6		40.9				
	人手不足	7.0		6.9		6.3		8.0		7.2		6.3		12.5		8.6				
	同業者間の競争の激化	29.0		25.7		25.3		25.0		26.8		21.9		29.2		26.9				
	大型店との競争の激化	35.0		29.7		29.5		35.0		30.9		32.3		26.0		26.9				
	輸入製品との競争の激化	3.0		3.0		2.1		4.0		2.1		1.0		1.0		1.1				
	利幅の縮小	9.0		10.9		7.4		10.0		9.3		12.5		13.5		10.8				
	取扱商品の陳腐化	2.0		1.0		1.1		1.0		4.1		2.1		3.1		3.2				
	販売商品の不足	3.0		4.0		3.2		3.0		4.1		3.1		1.0		4.3				
	販売納入先からの値下げ要請	1.0		1.0		-		-		-		-		-		1.1				
	仕入先からの値上げ要請	5.0		4.0		8.4		9.0		6.2		8.3		6.3		10.8				
	人件費の増加	3.0		2.0		2.1		2.0		2.1		2.1		4.2		2.2				
	人件費以外の経費の増加	-		2.0		1.1		-		1.0		2.1		2.1		1.1				
	取引先の減少	6.0		10.9		6.3		7.0		6.2		8.3		6.3		3.2				
	商圏人口の減少	6.0		10.9		10.5		6.0		11.3		5.2		4.2		7.5				
	商店街の集客力の低下	10.0		13.9		11.6		14.0		10.3		13.5		14.6		14.0				
	店舗の狭小・老朽化	4.0		5.9		6.3		5.0		6.2		3.1		4.2		3.2				
	代金回収の悪化	1.0		-		-		1.0		-		-		-		-				
	地価の高騰	-		-		-		-		-		-		-		-				
	駐車場の確保難	-		2.0		1.1		1.0		1.0		-		1.0		-				
	天候の不順	3.0		2.0		2.1		1.0		1.0		4.2		-		-				
	地場産業の衰退	1.0		-		1.1		1.0		2.1		2.1		-		-				
	大手企業・工場の縮小・撤退	1.0		-		-		-		-		-		1.0		-				
その他	-		-		1.1		3.0		2.1		-		-		2.2					
問題なし	9.0		8.9		12.6		9.0		8.2		15.6		12.5		10.8					
重点経営施策(%)	品揃えを改善する	28.0		24.8		26.3		27.0		32.0		27.1		27.1		29.0				
	経費を節減する	32.0		30.7		34.7		31.0		30.9		28.1		35.4		32.3				
	宣伝・広報を強化する	30.0		26.7		28.4		26.0		24.7		20.8		21.9		26.9				
	新しい事業を始める	-		1.0		-		-		-		2.1		1.0		1.1				
	店舗・設備を改装する	5.0		5.9		5.3		5.0		3.1		2.1		4.2		2.2				
	仕入先を開拓・選別する	4.0		7.9		5.3		8.0		7.2		10.4		11.5		6.5				
	営業時間を延長する	4.0		4.0		3.2		3.0		3.1		3.1		4.2		4.3				
	売れ筋商品を取り扱う	23.0		23.8		21.1		24.0		19.6		19.8		13.5		21.5				
	商店街事業を活性化させる	18.0		17.8		20.0		19.0		17.5		15.6		15.6		12.9				
	機械化を推進する	-		-		-		1.0		-		1.0		2.1		1.1				
	人材を確保する	4.0		5.0		2.1		5.0		3.1		4.2		5.2		5.4				
	パート化を図る	2.0		1.0		1.1		1.0		1.0		1.0		-		1.1				
	教育訓練を強化する	3.0		5.0		4.2		4.0		4.1		2.1		1.0		1.1				
	輸入品の取扱いを増やす	-		-		-		-		-		-		-		-				
	不動産の有効活用を図る	1.0		2.0		3.2		4.0		3.1		3.1		3.1		2.2				
	その他	-		-		-		-		-		-		1.0		2.2				
	特になし	15.0		19.8		20.0		18.0		18.6		22.9		17.7		12.9				
有効回答事業所数	100		101		95		100		97		96		96		93					

サービス業

転記表 No.1

2019年4月～6月期

注:各項目の右側は、前期調査における予想(予定)値です。

項 目	調査期	2017年		2017年		2018年		2018年		2018年		2018年		2019年		2019年		対 前期比	2019年 7～9月 期
		7月～9月期	8月	10月～12月期	11月	1月～3月期	2月	4月～6月期	5月	7月～9月期	10月	11月	12月期	1月～3月期	4月～6月期	7月	8月		
業 況	良 い	9.3	8.6	9.5	10.8	13.5	13.5	8.2	15.3	13.3	8.5	9.6	12.0	12.3	6.8	13.9	9.7		9.7
	普 通	64.0	65.7	62.1	64.9	56.8	63.5	71.3	61.1	61.4	70.4	63.0	66.7	65.8	67.2	72.2	70.9		73.6
	悪 い	26.7	25.7	28.4	24.3	29.7	23.0	20.5	23.6	25.3	21.1	27.4	21.3	21.9	26.0	13.9	19.4		16.7
	D・I	-17.4	-17.1	-18.9	-13.5	-16.2	-9.5	-12.3	-8.3	-12.0	-12.6	-17.8	-9.3	-9.6	-19.2	0.0	-9.7		-7.0
	修正値	-20.3	-18.7	-17.7	-16.7	-15.4	-9.3	-14.7	-9.2	-15.1	-12.5	-16.9	-11.4	-10.5	-19.5	-5.6	-11.3	4.9	-7.8
	傾 向 値	-18.2		-17.7		-17.1		-16.4		-15.5		-14.7		-13.8		-11.4			
売 上 額	増 加	13.3	12.9	9.5	12.2	13.5	15.1	16.4	12.3	16.0	12.7	11.0	13.3	13.7	8.2	8.3	5.5		5.6
	変 ら ず	60.0	64.2	62.1	64.8	59.5	64.4	63.1	68.5	62.7	67.6	58.9	70.7	61.6	69.9	76.4	72.6		73.6
	減 少	26.7	22.9	28.4	23.0	27.0	20.5	20.5	19.2	21.3	19.7	30.1	16.0	24.7	21.9	15.3	21.9		20.8
	D・I	-13.4	-10.0	-18.9	-10.8	-13.5	-5.4	-4.1	-6.9	-5.3	-7.0	-19.1	-2.7	-11.0	-13.7	-7.0	-16.4		-15.2
	修正値	-13.9	-13.8	-19.3	-11.7	-11.0	-6.3	-9.1	-7.2	-5.8	-8.5	-17.9	-3.0	-11.0	-14.8	-12.9	-15.8	-1.9	-15.5
	傾 向 値	-19.1		-17.9		-16.9		-13.9		-11.5		-10.5		-10.2		-10.2			
収 益	増 加	10.7	11.4	6.8	9.5	10.8	12.3	12.3	9.6	13.3	8.5	11.0	9.3	8.2	8.2	11.1	6.8		5.6
	変 ら ず	61.3	62.9	63.5	66.2	63.5	65.8	60.3	67.1	60.0	67.6	58.9	68.0	67.1	67.1	73.6	72.7		75.0
	減 少	28.0	25.7	29.7	24.3	25.7	21.9	27.4	23.3	26.7	23.9	30.1	22.7	24.7	24.7	15.3	20.5		19.4
	D・I	-17.3	-14.3	-22.9	-14.8	-14.9	-9.6	-15.1	-13.7	-13.4	-15.4	-19.1	-13.4	-16.5	-16.5	-4.2	-13.7		-13.8
	修正値	-19.7	-19.4	-20.4	-17.4	-12.3	-7.3	-20.0	-11.7	-14.8	-17.5	-16.2	-14.5	-16.2	-15.9	-11.6	-12.4	4.6	-15.1
	傾 向 値	-19.7		-19.8		-18.8		-17.4		-17.1		-16.1		-15.8		-14.7			
価 格 動 向	料 金 価 格	0.0	-4.3	-1.3	0.0	1.4	0.0	4.2	0.0	-4.0	-1.4	0.0	-1.3	-1.3	-5.4	1.3	-1.4		-2.8
	" 修正値	-1.7	-5.5	0.3	-0.4	0.8	-0.2	1.3	-1.6	-4.6	-2.1	1.5	-1.2	-1.2	-4.7	-1.3	-2.9	-0.1	-3.0
	" 傾向値	-3.6		-3.4		-2.1		0.0		0.6		0.2		0.1		-0.6			
	材 料 価 格	12.2	15.9	18.9	12.3	18.9	16.5	20.6	13.7	16.0	16.9	13.7	14.7	13.7	13.7	18.0	9.6		16.7
	" 修正値	9.8	13.0	19.7	10.1	18.0	16.5	18.4	14.5	15.8	14.5	15.9	14.5	14.7	15.0	17.2	12.3	2.5	14.2
	" 傾向値	10.1		11.8		14.1		16.3		18.1		18.0		16.7		15.7			
在 庫 ・ 資 金 繰 り	資 金 繰 り	-13.4	-8.6	-16.2	-17.5	-10.8	-11.0	-13.7	-8.2	-8.1	-11.3	-10.9	-12.0	-19.2	-8.2	-15.5	-19.2		-14.1
	" 修正値	-17.3	-10.2	-14.9	-19.7	-10.4	-10.0	-14.3	-9.2	-11.8	-12.4	-11.0	-12.8	-17.6	-8.7	-15.8	-18.7	1.8	-15.0
前 年 同 期 比	売 上 額	-13.3		-20.3		-12.2		-1.4		-8.0		-11.0		-13.7		-9.7			
	収 益	-20.0		-21.6		-20.2		-15.3		-13.3		-16.5		-22.0		-5.6			
雇 用	残 業 時 間	-4.0	-1.5	-12.2	-1.3	2.7	-5.5	-8.2	1.3	-4.0	-10.0	-6.9	-5.3	-10.9	-7.1	-5.5	-9.9		-5.7
	人 手	-17.3	-14.2	-16.2	-17.8	-16.2	-16.4	-20.5	-16.2	-20.2	-17.1	-16.4	-20.3	-21.9	-21.1	-20.8	-23.9		-21.1
借 入 金	借入をした/借入の予定あり(%)	13.3	2.9	13.5	6.8	13.7	5.5	9.7	8.2	5.4	5.7	12.5	6.8	9.6	7.0	18.1	5.6		5.7
	借入しない/借入の予定なし(%)	86.7	97.1	86.5	93.2	86.3	94.5	90.3	91.8	94.6	94.3	87.5	93.2	90.4	93.0	81.9	94.4		94.3
	借入難易度	0.0		-2.1		-4.1		-10.2		-2.2		0.0		0.0		-7.5			
有効回答事業所数		71		75		74		74		74		75		74		73			

サービス業

転記表 No.2

2019年4月～6月期

注：各項目の右側は、前期調査における予想(予定)値です。

項目	調査期		2017年		2017年		2018年		2018年		2018年		2018年		2019年		2019年		対 前期比	2019年 7～9月 期
	7月～9月期	10月～12月期	7月～9月期	10月～12月期	1月～3月期	4月～6月期	7月～9月期	10月～12月期	1月～3月期	4月～6月期	7月～9月期	10月～12月期	1月～3月期	4月～6月期	7月～9月期	10月～12月期				
設備投資動向(%)	現在の設備	-13.4	-5.7	-8.1	-9.9	-4.1	-8.2	-6.8	-1.4	-6.7	-8.6	-6.8	-8.3	-2.7	-5.5	-9.9	-4.2			-14.3
	実施した・予定あり	18.1	17.6	12.5	18.6	16.9	13.9	12.7	15.9	14.7	13.0	15.5	15.3	11.4	17.9	13.2	12.7			13.6
	事業用土地・建物	15.4	8.3	44.4	15.4	16.7	30.0	33.3	9.1	18.2	22.2	9.1	18.2	12.5	16.7	33.3	11.1			11.1
	機械・設備の新・増設	23.1	33.3	44.4	23.1	25.0	60.0	22.2	36.4	18.2	11.1	18.2	27.3	25.0	25.0	33.3	11.1			22.2
	機械・設備の更改	23.1	33.3	22.2	7.7	25.0	20.0	33.3	18.2	9.1	22.2	18.2	9.1	-	33.3	11.1	11.1			33.3
	事務機器	23.1	16.7	22.2	23.1	8.3	20.0	11.1	9.1	18.2	33.3	45.5	27.3	37.5	33.3	55.6	22.2			22.2
	車両	38.5	41.7	11.1	46.2	50.0	20.0	55.6	45.5	63.6	88.9	36.4	63.6	62.5	41.7	33.3	44.4			44.4
	その他	15.4	8.3	11.1	7.7	16.7	-	11.1	18.2	9.1	-	9.1	9.1	12.5	-	11.1	11.1			-
実施しない・予定なし	81.9	82.4	87.5	81.4	83.1	86.1	87.3	84.1	85.3	87.0	84.5	84.7	88.6	82.1	86.8	87.3			86.4	
経営上の問題点(%)	売上の停滞・減少	28.0		32.4		35.1		28.4		25.3		31.1		31.5		36.1				
	人手不足	17.3		23.0		16.2		23.0		22.7		24.3		28.8		19.4				
	同業者間の競争の激化	38.7		39.2		39.2		40.5		38.7		41.9		38.4		41.7				
	大企業との競争の激化	13.3		13.5		10.8		13.5		12.0		12.2		12.3		13.9				
	合理化の不足	2.7		4.1		-		2.7		2.7		1.4		-		1.4				
	利幅の縮小	18.7		14.9		17.6		14.9		10.7		9.5		12.3		11.1				
	取扱事務の陳腐化	-		-		-		-		-		1.4		-		-				
	材料価格の上昇	12.0		8.1		10.8		13.5		13.3		12.2		9.6		8.3				
	料金の値下げ要請	-		-		1.4		4.1		-		1.4		-		1.4				
	人件費の増加	4.0		5.4		6.8		5.4		6.7		4.1		5.5		8.3				
	人件費以外の経費の増加	2.7		2.7		4.1		4.1		4.0		4.1		2.7		1.4				
	技術力の不足	1.3		2.7		5.4		1.4		2.7		2.7		1.4		4.2				
	取引先の減少	8.0		6.8		13.5		5.4		9.3		8.1		8.2		8.3				
	商圏人口の減少	8.0		9.5		6.8		8.1		6.7		5.4		6.8		5.6				
	地価の高騰	-		-		-		-		-		-		-		-				
	駐車場の確保難	2.7		1.4		2.7		4.1		2.7		1.4		1.4		4.2				
	店舗・設備の狭小・老朽化	9.3		4.1		6.8		6.8		8.0		9.5		11.0		8.3				
	代金回収の悪化	-		-		-		-		-		-		-		1.4				
	天候の不順	4.0		1.4		2.7		1.4		2.7		5.4		2.7		4.2				
	地場産業の衰退	1.3		1.4		1.4		1.4		1.3		1.4		1.4		1.4				
大手企業・工場の縮小・撤退	-		-		1.4		1.4		1.3		1.4		2.7		4.2					
その他	-		1.4		-		-		-		-		-		-					
問題なし	12.0		10.8		6.8		8.1		12.0		6.8		12.3		11.1					
重点経営施策(%)	販路を広げる	34.7		39.2		40.5		36.5		28.0		39.2		34.2		37.5				
	経費を削減する	40.0		36.5		37.8		35.1		36.0		36.5		35.6		30.6				
	宣伝・広告を強化する	25.3		25.7		24.3		24.3		22.7		25.7		24.7		20.8				
	新しい事業を始める	1.3		2.7		1.4		2.7		2.7		2.7		2.7		2.8				
	店舗・設備を改装する	6.7		4.1		5.4		9.5		5.3		8.1		6.8		11.1				
	提携先を見つける	9.3		10.8		10.8		14.9		10.7		12.2		11.0		12.5				
	技術力を強化する	12.0		9.5		10.8		10.8		12.0		9.5		8.2		12.5				
	機械化を推進する	1.3		1.4		-		2.7		-		1.4		-		-				
	人材を確保する	18.7		18.9		17.6		16.2		18.7		21.6		24.7		20.8				
	パート化を図る	-		-		-		1.4		2.7		1.4		1.4		2.8				
	教育訓練を強化する	5.3		6.8		13.5		6.8		5.3		5.4		6.8		5.6				
	労働条件を改善する	6.7		8.1		8.1		5.4		5.3		6.8		6.8		5.6				
	不動産の有効活用を図る	-		-		-		-		-		-		1.4		-				
その他	-		-		-		1.4		-		-		1.4		-					
特になし	21.3		17.6		14.9		16.2		16.0		12.2		17.8		18.1					
有効回答事業所数	75		74		74		74		75		74		73		72					

建設業

転記表 No.1

2019年4月～6月期

注：各項目の右側は、前期調査における予想(予定)値です。

項 目	調査期	2017年		2017年		2018年		2018年		2018年		2018年		2019年		2019年		対 前期比	2019年 7～9月 期	
		7月～9月期	10月～12月期	10月～12月期	1月～3月期	4月～6月期	7月～9月期	10月～12月期	1月～3月期	4月～6月期	4月～6月期	7月～9月期	10月～12月期	1月～3月期	4月～6月期					
業 況	良 い	22.6	18.0	26.6	17.7	25.0	23.4	23.4	20.6	20.3	28.1	24.6	23.8	27.4	23.4	25.8	19.4		17.7	
	普 通	59.7	68.9	59.3	66.2	64.1	62.5	57.8	66.7	62.5	61.0	63.1	65.1	58.1	64.1	56.5	64.5		71.0	
	悪 い	17.7	13.1	14.1	16.1	10.9	14.1	18.8	12.7	17.2	10.9	12.3	11.1	14.5	12.5	17.7	16.1		11.3	
	D・I	4.9	4.9	12.5	1.6	14.1	9.3	4.6	7.9	3.1	17.2	12.3	12.7	12.9	10.9	8.1	3.3		6.4	
	修正値	6.7	-2.0	9.5	0.5	7.6	9.7	4.6	6.9	8.4	11.5	11.5	15.1	8.7	14.2	8.3	4.0	-0.4		1.7
	傾向値	2.5		5.7		8.2		9.1		8.8		8.6		8.4		8.7				
売 上 額	増 加	30.6	23.0	40.6	19.4	28.1	25.0	31.3	21.9	31.3	35.9	33.8	26.6	27.4	23.1	24.2	12.9		14.5	
	変 ら ず	51.7	63.9	46.9	62.9	57.8	62.5	54.6	68.7	51.5	53.2	55.4	62.5	56.5	63.1	61.3	64.5		72.6	
	減 少	17.7	13.1	12.5	17.7	14.1	12.5	14.1	9.4	17.2	10.9	10.8	10.9	16.1	13.8	14.5	22.6		12.9	
	D・I	12.9	9.9	28.1	1.7	14.0	12.5	17.2	12.5	14.1	25.0	23.0	15.7	11.3	9.3	9.7	-9.7		1.6	
	修正値	11.5	4.9	19.9	2.5	12.6	8.1	19.1	13.0	16.0	18.9	18.5	20.6	12.9	9.3	9.7	-4.9	-3.2		-4.5
	傾向値	11.0		13.6		16.3		17.8		18.2		17.7		16.7		15.5				
受 注 残	増 加	22.6	16.4	31.3	16.1	21.9	21.9	26.6	18.8	25.0	28.1	32.3	21.9	25.8	26.2	21.0	12.9		12.9	
	変 ら ず	66.1	68.8	59.3	72.6	67.2	65.6	64.0	71.8	56.2	65.6	55.4	67.2	61.3	58.4	67.7	66.1		75.8	
	減 少	11.3	14.8	9.4	11.3	10.9	12.5	9.4	9.4	18.8	6.3	12.3	10.9	12.9	15.4	11.3	21.0		11.3	
	D・I	11.3	1.6	21.9	4.8	11.0	9.4	17.2	9.4	6.2	21.8	20.0	11.0	12.9	10.8	9.7	-8.1		1.6	
	修正値	12.4	-0.2	15.1	3.8	6.8	6.7	20.3	6.9	10.3	20.4	16.2	14.1	11.3	11.7	11.3	-6.1	0.0		-1.2
	傾向値	8.0		10.7		12.6		14.2		14.7		13.8		13.8		13.1				
施 工 高	増 加	17.7	14.8	23.4	14.5	23.4	21.9	28.6	21.9	21.9	33.3	31.3	18.8	22.6	23.4	22.6	12.9		16.1	
	変 ら ず	69.4	73.7	68.8	74.2	65.7	70.3	60.3	70.3	62.5	58.8	57.8	73.4	64.5	65.7	66.1	66.1		72.6	
	減 少	12.9	11.5	7.8	11.3	10.9	7.8	11.1	7.8	15.6	7.9	10.9	7.8	12.9	10.9	11.3	21.0		11.3	
	D・I	4.8	3.3	15.6	3.2	12.5	14.1	17.5	14.1	6.3	25.4	20.4	11.0	9.7	12.5	11.3	-8.1		4.8	
	修正値	3.7	0.1	8.5	2.4	9.5	9.6	19.5	14.4	8.4	21.6	16.2	13.6	10.4	12.6	10.6	-4.7	0.2		0.8
	傾向値	4.1		5.4		7.9		11.0		12.8		13.6		13.8		12.7				
収 益	増 加	19.4	11.5	26.6	8.1	14.1	18.8	20.3	15.6	20.3	23.4	32.3	17.2	22.6	18.5	25.8	16.1		14.5	
	変 ら ず	64.5	75.4	59.3	75.8	70.3	64.0	64.1	71.9	64.1	67.2	53.9	71.9	56.4	67.7	59.7	58.1		71.0	
	減 少	16.1	13.1	14.1	16.1	15.6	17.2	15.6	12.5	15.6	9.4	13.8	10.9	21.0	13.8	14.5	25.8		14.5	
	D・I	3.3	-1.6	12.5	-8.0	-1.5	1.6	4.7	3.1	4.7	14.0	18.5	6.3	1.6	4.7	11.3	-9.7		0.0	
	修正値	2.2	-5.2	5.4	-9.2	-2.1	-1.7	5.2	2.4	5.8	10.5	13.6	6.9	4.2	6.2	8.9	-7.4	4.7		-4.0
	傾向値	-1.2		1.1		2.7		4.0		4.9		5.9		7.0		8.2				
価 格 動 向	請 負 価 格	-4.8	-3.2	3.2	-1.6	-1.6	0.0	-1.5	1.6	-3.2	1.5	7.7	1.5	-1.6	3.1	0.0	-6.4		4.8	
	〃 修正値	-7.6	-3.8	-0.8	-3.8	-0.4	-2.6	0.1	1.5	-4.0	2.0	3.8	1.5	0.2	1.8	2.6	-5.4	2.4	5.4	
	〃 傾向値	-5.1		-4.1		-2.9		-1.8		-1.0		-0.2		0.4		0.5				
	材 料 価 格	18.0	19.7	27.0	18.1	27.0	23.8	33.3	27.0	26.5	33.3	32.8	17.2	39.3	26.6	34.4	31.2		26.3	
	〃 修正値	16.8	16.6	24.6	17.3	28.4	22.2	30.0	28.0	27.9	30.8	32.1	20.2	39.3	26.2	32.5	31.7	-6.8	25.4	
	〃 傾向値	21.1		22.2		24.1		25.4		27.4		29.2		31.4		33.1				
在 庫 ・ 資 金 繰 り	在 庫 数 量	-3.3	-5.0	0.0	-4.9	-3.2	-1.6	-1.6	-4.7	-1.5	-3.2	-1.6	-3.1	-3.3	-3.1	0.0	-3.3		0.0	
	〃 修正値	-4.2	-4.2	-0.5	-6.1	-2.7	-1.0	-1.1	-4.4	-1.8	-2.4	-1.9	-3.7	-3.0	-2.7	-0.2	-3.1	2.8	-0.5	
	資 金 繰 り	1.6	-4.9	-1.6	-3.2	-6.3	3.2	-6.3	-6.2	-6.3	-4.7	0.0	-4.6	-6.4	-1.5	1.6	-8.1		-4.9	
	〃 修正値	0.3	-6.7	-6.2	-4.1	-8.0	-1.1	-5.7	-7.8	-5.6	-4.9	-3.0	-3.5	-6.4	-4.0	1.4	-7.9	7.8	-4.6	
前 年 同 期 比	売 上 額	0.0		12.5		10.9		12.5		9.4		26.2		11.5		8.1				
	収 益	-6.4		6.2		3.2		4.7		4.7		20.0		1.6		6.5				
雇 用	残 業 時 間	1.6	-6.6	0.0	6.5	6.3	0.0	-9.4	9.3	7.8	-1.5	10.7	6.4	4.8	4.7	-3.3	-1.6		-3.3	
	人 手	-37.1	-29.5	-35.9	-34.4	-34.4	-35.9	-25.0	-28.1	-37.5	-34.4	-36.9	-33.9	-37.1	-37.5	-29.5	-32.3		-30.0	
借 入 金	借入をした/借入の予定あり(%)	39.3	21.7	45.3	25.0	35.9	26.6	35.9	28.1	34.9	20.6	40.0	24.2	32.3	31.7	32.8	27.9		18.0	
	借入しない/借入の予定なし(%)	60.7	78.3	54.7	75.0	64.1	73.4	64.1	71.9	65.1	79.4	60.0	75.8	67.7	68.3	67.2	72.1		82.0	
	借入難易度	7.5		-1.8		1.7		-3.8		-5.6		-5.5		0.0		1.9				
有効回答事業所数		62		64		64		64		64		65		62		62				

建設業

転記表 No.2

2019年4月～6月期

注: 各項目の右側は、前期調査における予想(予定)値です。

項目	調査期		2017年		2017年		2018年		2018年		2018年		2018年		2019年		2019年		対 前期比	2019年 7～9月 期
	7月～9月期	10月～12月期	7月～9月期	10月～12月期	1月～3月期	4月～6月期	7月～9月期	10月～12月期	1月～3月期	4月～6月期	7月～9月期	10月～12月期	1月～3月期	4月～6月期	7月～9月期	10月～12月期				
設備投資動向(%)	現在の設備	-3.2	-4.9	-3.1	-1.7	0.0	-1.6	-3.2	-4.9	-3.2	-3.2	-3.1	-3.3	-6.6	-5.0	0.0	-6.6			0.0
	実施した・予定あり	27.9	23.0	20.3	17.2	25.8	23.4	21.3	21.7	16.4	15.3	22.6	25.0	16.9	21.7	23.3	22.0			20.7
	事業用土地・建物	23.5	21.4	15.4	40.0	25.0	13.3	-	23.1	30.0	11.1	14.3	20.0	30.0	7.7	21.4	15.4			25.0
	機械・設備の新・増設	29.4	21.4	30.8	40.0	25.0	26.7	46.2	38.5	20.0	44.4	14.3	20.0	20.0	30.8	28.6	38.5			33.3
	機械・設備の更改	23.5	28.6	15.4	30.0	25.0	20.0	7.7	7.7	20.0	33.3	28.6	13.3	-	38.5	21.4	23.1			25.0
	事務機器	17.6	35.7	30.8	20.0	25.0	13.3	46.2	15.4	30.0	11.1	35.7	13.3	40.0	15.4	35.7	15.4			25.0
	車両	58.8	35.7	69.2	60.0	56.3	73.3	53.8	38.5	50.0	33.3	71.4	53.3	70.0	53.8	42.9	61.5			41.7
	その他	-	7.1	7.7	-	-	6.7	-	-	-	-	7.1	-	-	7.7	7.1	-			-
実施しない・予定なし	72.1	77.0	79.7	82.8	74.2	76.6	78.7	78.3	83.6	84.7	77.4	75.0	83.1	78.3	76.7	78.0			79.3	
経営上の問題点(%)	売上の停滞・減少	14.5		18.8		15.6		20.3		21.9		23.1		22.6		27.4				
	人手不足	41.9		42.2		34.4		35.9		34.4		35.4		37.1		33.9				
	大手企業との競争の激化	12.9		15.6		15.6		17.2		20.3		16.9		11.3		14.5				
	同業者間の競争の激化	30.6		31.3		23.4		28.1		25.0		27.7		24.2		21.0				
	親企業による選別の強化	4.8		1.6		1.6		3.1		1.6		1.5		-		1.6				
	合理化の不足	4.8		3.1		1.6		4.7		1.6		3.1		1.6		1.6				
	利幅の縮小	21.0		17.2		14.1		14.1		17.2		10.8		19.4		17.7				
	材料価格の上昇	19.4		18.8		18.8		20.3		18.8		24.6		16.1		17.7				
	下請の確保難	12.9		10.9		12.5		7.8		10.9		20.0		17.7		12.9				
	駐車場・資材置場の確保難	4.8		1.6		3.1		-		6.3		1.5		3.2		6.5				
	人件費の増加	4.8		7.8		14.1		12.5		6.3		15.4		17.7		21.0				
	人件費以外の経費の増加	1.6		1.6		3.1		1.6		3.1		3.1		1.6		4.8				
	技術力の不足	6.5		3.1		3.1		6.3		6.3		3.1		4.8		8.1				
	代金回収の悪化	1.6		-		-		3.1		1.6		-		-		-				
	天候の不順	11.3		10.9		14.1		10.9		12.5		7.7		9.7		8.1				
	地場産業の衰退	-		4.7		-		-		-		-		-		-				
	大手企業・工場の縮小・撤退	-		-		-		3.1		1.6		1.5		-		-				
その他	-		3.1		-		3.1		1.6		3.1		1.6		-					
問題なし	11.3		9.4		14.1		9.4		10.9		7.7		6.5		6.5					
重点経営施策(%)	販路を広げる	35.5		32.8		40.6		39.1		31.3		32.3		30.6		46.8				
	経費を節減する	38.7		37.5		34.4		35.9		32.8		38.5		38.7		35.5				
	情報力を強化する	21.0		20.3		12.5		23.4		20.3		13.8		24.2		24.2				
	新しい工法を導入する	3.2		1.6		7.8		3.1		3.1		4.6		1.6		4.8				
	新しい事業を始める	4.8		3.1		1.6		1.6		1.6		3.1		1.6		3.2				
	技術力を高める	27.4		28.1		26.6		17.2		17.2		27.7		22.6		25.8				
	人材を確保する	35.5		35.9		42.2		39.1		43.8		41.5		43.5		33.9				
	パート化を図る	3.2		-		-		-		-		-		-		-				
	教育訓練を強化する	6.5		7.8		9.4		7.8		6.3		6.2		9.7		6.5				
	労働条件を改善する	8.1		9.4		6.3		9.4		9.4		6.2		6.5		8.1				
	不動産の有効活用を図る	6.5		-		1.6		4.7		1.6		3.1		3.2		3.2				
	その他	1.6		1.6		1.6		-		1.6		-		1.6		-				
特になし	9.7		10.9		12.5		10.9		10.9		7.7		6.5		4.8					
有効回答事業所数	62		64		64		64		64		65		62		62					

江戸川区 生活振興部 産業振興課 計画係

TEL:03-5662-0525 (直通) FAX:03-5662-0812